

資料第 1354号

平成30年度

学校基本調査結果報告

平成31年1月

広島県

は し が き

学校基本調査は、統計法に基づく基幹統計調査（文部科学省所管）で、毎年5月1日現在で実施されています。

この結果報告は、県が国の委託を受けて調査した結果に、文部科学省が直接調査した国立学校の結果を加えて、本県分の概要として取りまとめたものです。

結果の全容については、文部科学省刊行の学校基本調査報告書と併せて御活用いただければ幸いです。

終わりに、調査の実施に当たり御回答をいただいた各学校をはじめ、市町及び市町教育委員会、その他関係者の方々に対し厚くお礼を申し上げますとともに、今後とも一層の御協力をお願いいたします。

平成31年1月

広島県経営戦略審議官 山根 健嗣

目 次

利用者のために

結果の概要

I	概況	1
II	学校調査	
1	幼稚園	1 4
2	幼保連携型認定こども園	1 6
3	小学校	1 8
4	中学校	1 9
5	義務教育学校	2 0
6	高等学校	2 1
7	中等教育学校	2 6
8	特別支援学校	2 7
9	専修学校	2 8
10	各種学校	3 0
III	卒業後の状況調査	
1	中学校	3 1
2	義務教育学校	3 3
3	高等学校	3 4
4	中等教育学校(前期課程)	3 6
5	特別支援学校	3 7
IV	不就学学齢児童生徒調査	
1	不就学学齢児童生徒数	4 0
[参考]		
1	広島県の大学, 短期大学, 高等専門学校の状況	4 1
2	大学, 短期大学の転出入状況	4 2

統計表

1	総括表	4 3
2	幼稚園	4 4
3	幼保連携型認定こども園	4 6
4	小学校	4 8
5	中学校	5 0
6	義務教育学校	5 2
7	高等学校(全日制・定時制)	5 4
8	高等学校(通信制)	5 6
9	中等教育学校	5 8
10	特別支援学校	6 0
11	専修学校	6 2
12	各種学校	6 4
13	中学校等の卒業後の状況 (中学校, 義務教育学校(後期課程), 中等教育学校(前期課程), 特別支援学校(中学部))	6 6
14	中学校等の卒業後の高等学校等への進学状況 (中学校, 義務教育学校(後期課程), 中等教育学校(前期課程), 特別支援学校(中学部))	6 8
15	中学校等の卒業後の就職状況 (中学校, 義務教育学校(後期課程), 中等教育学校(前期課程), 特別支援学校(中学部))	7 0
16	高等学校等の卒業後の状況 (高等学校, 中等教育学校(後期課程), 特別支援学校(高等部))	7 2

17	高等学校等の卒業後の大学等への進学状況 (高等学校, 中等教育学校(後期課程), 特別支援学校(高等部))	7 4
18	高等学校等の卒業後の産業別の就職状況 (高等学校, 中等教育学校(後期課程), 特別支援学校(高等部))	7 6
19	高等学校等の卒業後の職業別の就職状況 (高等学校, 中等教育学校(後期課程), 特別支援学校(高等部))	7 8
20	高等学校の卒業後の地域別の就職状況	8 0
21	不就学学齢児童生徒調査	8 2
22	学校施設調査	8 3

付表

付表 1	年次別園児・児童・生徒・在学者数	8 5
付表 2	年次別進学率・就職率・就園率	8 6
付表 3	大学・短期大学への入学先・出身県別入学者数及び 高等学校卒業者の就職先・出身県別就職者数	8 7

利 用 者 の た め に

1 調査の概要

(1) 調査の目的

学校教育行政に必要な学校に関する基本的事項を明らかにすることを目的とする。

(2) 調査の法的根拠

統計法（平成 19 年法律第 53 号）に基づく文部科学省所管の基幹統計調査（昭和 23 年度から毎年実施）

(3) 調査の期日

平成 30 年 5 月 1 日現在

(4) 調査の対象

国立・公立・私立の幼稚園，幼保連携型認定こども園，小学校，中学校，義務教育学校，高等学校，中等教育学校，特別支援学校，専修学校，各種学校及び市町の教育委員会（注：国立の学校は文部科学省の直接調査となっている。）

(5) 調査票の種類と主な調査事項

ア 学校調査……………学校数，学級数，園児・児童・生徒数，教員数，職員数，入学者数及び卒業生数等。

イ 学校通信教育調査……………学校数，生徒数，教員数，職員数，入学者数及び卒業生数等。

ウ 卒業後の状況調査……………中学校，高等学校全日制・定時制課程，特別支援学校については平成 30 年 3 月卒業生（年度途中（平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日）に卒業を認められた者も含む。）の 5 月 1 日現在の状況。高等学校通信制課程については，平成 29 年度間卒業生の 5 月 1 日現在の状況。（高等学校通信制についてのこの調査事項は，昭和 61 年度に新設された。）

なお，この調査における中学校又は高等学校卒業生の高等学校又は大学等への「入学志願者数」には，高等学校の通信制課程，大学及び短期大学の通信教育部並びに放送大学への入学志願者は含まれていない。

エ 不就学学齢児童生徒調査…就学免除者数，就学猶予者数，1 年以上居所不明者数及び学齢児童生徒死亡者数。

オ 学校施設調査……………土地又は建物の用途別及び構造別等の面積並びに増減の状況。

2 報告書の内容及び資料

(1) この報告書には，「学校調査」，「学校通信教育調査」，「卒業後の状況調査」，「不就学学齢児童生徒調査」及び「学校施設調査」の結果の一部を収録している。

(2) 平成 29 年度以前の数値は，原則として，文部科学省「学校基本調査報告書」による。ただし，この報告書に掲載されていない数値は，県集計表による。

(3) 本年度の数値は，県集計表及び文部科学省「平成 30 年度学校基本調査報告書」による。

3 用語の説明等

(1) この調査における用語の説明は、次に掲げるほか、必要に応じて表に脚注として掲げた。

- ア「併置校」……………高等学校において、「全日制」及び「定時制」、「全日制」及び「通信制」、又は「定時制」及び「通信制」の課程を設置している学校をいう。
- イ「特別支援学級」……………学校教育法第81条第2項に該当する児童生徒（知的障害、肢体不自由、病弱・身体虚弱、弱視、難聴、言語障害、自閉症・情緒障害）で編成されている学級をいう。
- ウ「外国人」……………日本の国籍を持たない者をいう。日本と外国の両方に国籍を有する者は日本人とする。
- エ「教員数(本務者)、職員数(本務者)」……………本務・兼務の区別は原則として辞令面による。本務者には、退職者・産休者及び育児休業者並びに産休代替者及び育児休業代替者を含める。
- オ「高等学校等進学者」……………高等学校の本科（全日制、定時制及び通信制）及び別科、中等教育学校後期課程の本科及び別科、高等専門学校、特別支援学校高等部の本科及び別科に進学した者をいう。
- カ「大学等進学者」……………大学（学部）、短期大学（本科）、大学・短期大学の通信教育部及び放送大学、大学・短期大学（別科）、高等学校（専攻科）及び特別支援学校高等部（専攻科）に進学した者をいう。
- キ「専修学校等入学者」……………専修学校、各種学校又は公共職業能力開発施設等に入学した者をいう。ただし、進学しながら専修学校等に通学している者は「進学者」としている。
- ク「就職者」……………給料、賃金、利潤、報酬その他経常的収入を得る仕事に就いた者をいう。（自家・自営業に就いた者は含めるが、家事手伝いや臨時的な仕事に就いた者は含めない。）就職しながら進学した者及び就職しながら専修学校等に入学した者は、それぞれ「進学者」、「専修学校等入学者」に含めるとともに、就職率の算出及び就職先の産業別・職業別等就職者数にも含める。
- ケ「一時的な仕事に就いた者」……………臨時的な収入を目的とする仕事（アルバイト・パート等）に就いた者で就あり、雇用の期間が1年未満又は雇用の期間の長さにかかわらず短時間勤務の者をいう。平成16年度から調査を開始。
- コ「専修学校」……………学校教育法第1条の学校以外で、職業や實際生活に必要な能力を育成し、又は教養の向上を図ることを目的として組織的な教育を行う教育施設（学校教育法第124条）をいう。修業年限は1年以上で、常時40人以上を対象として年間800時間以上の授業を行うものとされているほか、教員資格、教員数、校舎面積などについて専修学校設置基準（昭和51年文部省令第2号）を満たし、認可を受けたものをいう。
- サ「各種学校」……………学校教育法第1条の学校及び専修学校以外の学校教育に類する教育を行う教育施設（学校教育法第134条）で、年間授業時数、教員数、校舎面積などについて各種学校規程（昭和31年文部省令）の基準を満たし、認可を受けたものをいう。
- シ「特別支援学校」……………盲学校、ろう学校及び養護学校が、学校教育法の一部改正に伴い平成19年4月1日から特別支援学校となった。

(2) 統計表中の記号は、次のとおりである。

- 「—」……………該当数値のないもの
- 「…」……………数値の出現があり得ないもの又は調査対象とならなかったもの
- 「0.0」……………数値が単位未満のもの
- 「△」……………負数又は減少を示す。

(3) 統計表の中には、四捨五入の関係で総計（合計）と内訳が一致しない場合がある。

比率は小数点第1位までの表章としており、表章未満は四捨五入している。

(4) この報告書についてのお問い合わせ先

広島県総務局統計課 消費経済・教育統計グループ

〒730-8511 広島市中区基町 10-52 電話 (082) 513-2534 (ダイヤルイン)

FAX (082) 211-3575

この内容については広島県のホームページでも情報提供していますので、御利用ください。

「広島県統計課」で検索してください。

ホームページアドレス <https://www.pref.hiroshima.lg.jp/soshiki/21/>

結 果 の 概 要

結果の概要

I 概況

平成 30 年 5 月 1 日現在で実施した学校基本調査(大学, 短期大学, 高等専門学校を除く。)の結果の概要は, 次のとおりである。

(1) 学校数

- 幼稚園は 252 園で, 前年度より 4 園減少。
- 幼保連携型認定こども園は 110 園で, 前年度より 22 園増加。
- 小学校は 485 校で, 前年度より 3 校減少。
- 義務教育学校は 3 校で, 前年度より 1 校増加。
- 中等教育学校は 1 校で, 前年度と同じ。
- 専修学校は 76 校で, 前年度より 2 校減少。
- 中学校は 268 校で, 前年度より 1 校増加。
- 高等学校は 137 校で, 前年度より 1 校増加。
- 特別支援学校は 18 校で, 前年度と同じ。
- 各種学校は 25 校で, 前年度より 1 校減少。

(2) 在学者数

- 幼稚園園児数は 26,030 人で, 前年度より 980 人減少。
- 幼保連携型認定こども園園児数は 14,713 人で, 前年度より 2,768 人増加。
- 小学校児童数は 151,779 人で, 前年度より 315 人増加。
- 中学校生徒数は 75,049 人で, 前年度より 1,471 人減少。
- 義務教育学校児童生徒数は 1,353 人で, 前年度より 142 人増加。
- 高等学校生徒数は 75,091 人で, 前年度より 1,106 人減少。
- 中等教育学校生徒数は 585 人で, 前年度より 116 人増加。
- 特別支援学校在学者数は 2,755 人で, 前年度より 42 人増加。
- 専修学校生徒数は 12,625 人で, 前年度より 73 人増加。
- 各種学校生徒数は 2,226 人で, 前年度より 124 人減少。

[参考]

- 小学校及び義務教育学校前期課程の児童を合計した児童数(以下「小学校相当児童数」という。)は 152,659 人で, 前年度より 404 人増加。
- 中学校, 義務教育学校後期課程及び中等教育学校前期課程の生徒を合計した生徒数(以下「中学校相当生徒数」という。)は, 75,879 人で, 前年度より 1,414 人減少。
- 高等学校及び中等教育学校後期課程の生徒を合計した生徒数(以下「高等学校相当生徒数」という。)は, 75,319 人で, 前年度より 994 人減少。

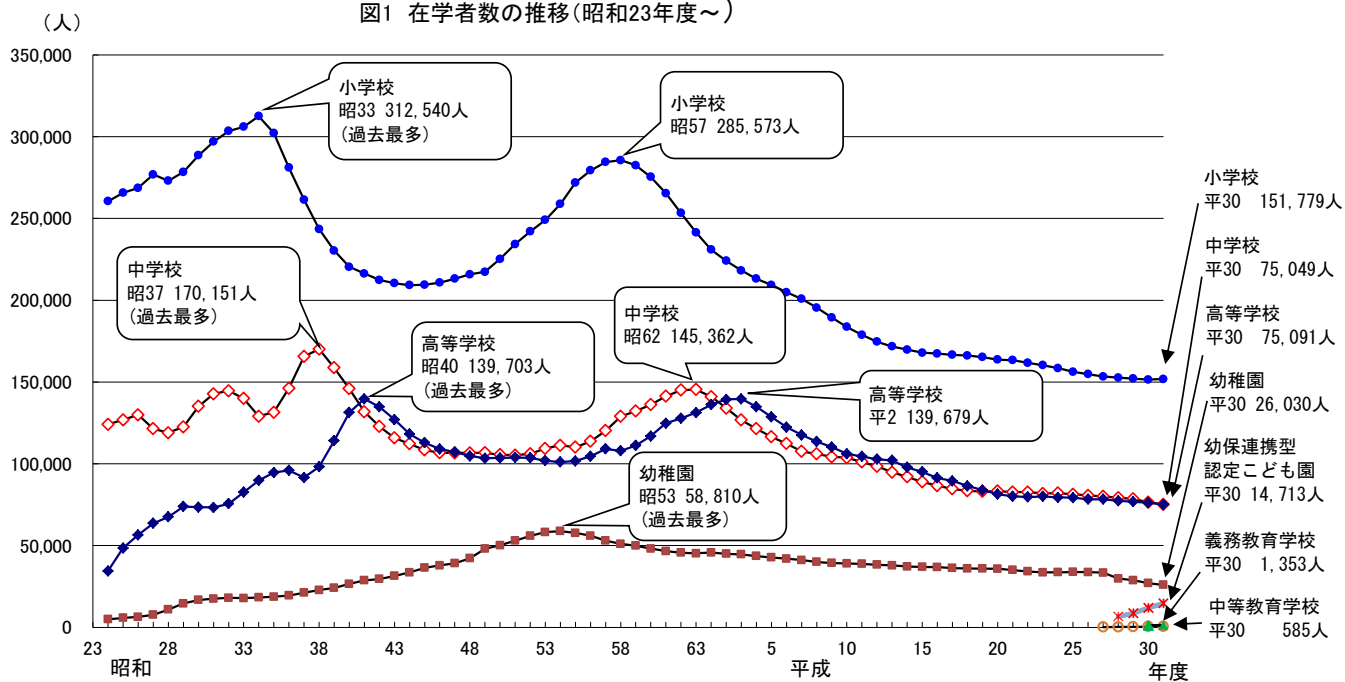
(3) 教員数(本務者)

- 幼稚園教員数(本務者)は 1,948 人で, 前年度より 38 人減少。
- 幼保連携型認定こども園教育・保育職員数(本務者)は 2,399 人で, 前年度より 482 人増加。
- 小学校教員数(本務者)は 9,646 人で, 前年度より 42 人増加。
- 中学校教員数(本務者)は 5,451 人で, 前年度より 73 人減少。
- 義務教育学校教員数(本務者)は 109 人で, 前年度より 24 人増加。
- 高等学校教員数(本務者)は 5,404 人で, 前年度より 51 人減少。
- 中等教育学校教員数(本務者)は 40 人で, 前年度より 11 人増加。
- 特別支援学校教員数(本務者)は 1,550 人で, 前年度より 5 人減少。
- 専修学校教員数(本務者)は 793 人で, 前年度より 35 人減少。
- 各種学校教員数(本務者)は 165 人で, 前年度より 10 人減少。

区 分	学 校 数		在 学 者 数		教 員 数(本 務 者)	
	校(園)	対前年度増減	人	対前年度増減	人	対前年度増減
幼 稚 園	252	△4	26,030	△980	1,948	△38
幼保連携型認定こども園	110	22	14,713	2,768	2,399	482
小 学 校	485	△3	151,779	315	9,646	42
中 学 校	268	1	75,049	△1,471	5,451	△73
義 務 教 育 学 校	3	1	1,353	142	109	24
┌ 前 期 課 程	880	89
└ 後 期 課 程	473	53
高 等 学 校	137	1	75,091	△1,106	5,404	△51
中 等 教 育 学 校	1	-	585	116	40	11
┌ 前 期 課 程	357	4
└ 後 期 課 程	228	112
特 別 支 援 学 校	18	-	2,755	42	1,550	△5
専 修 学 校	76	△2	12,625	73	793	△35
各 種 学 校	25	△1	2,226	△124	165	△10

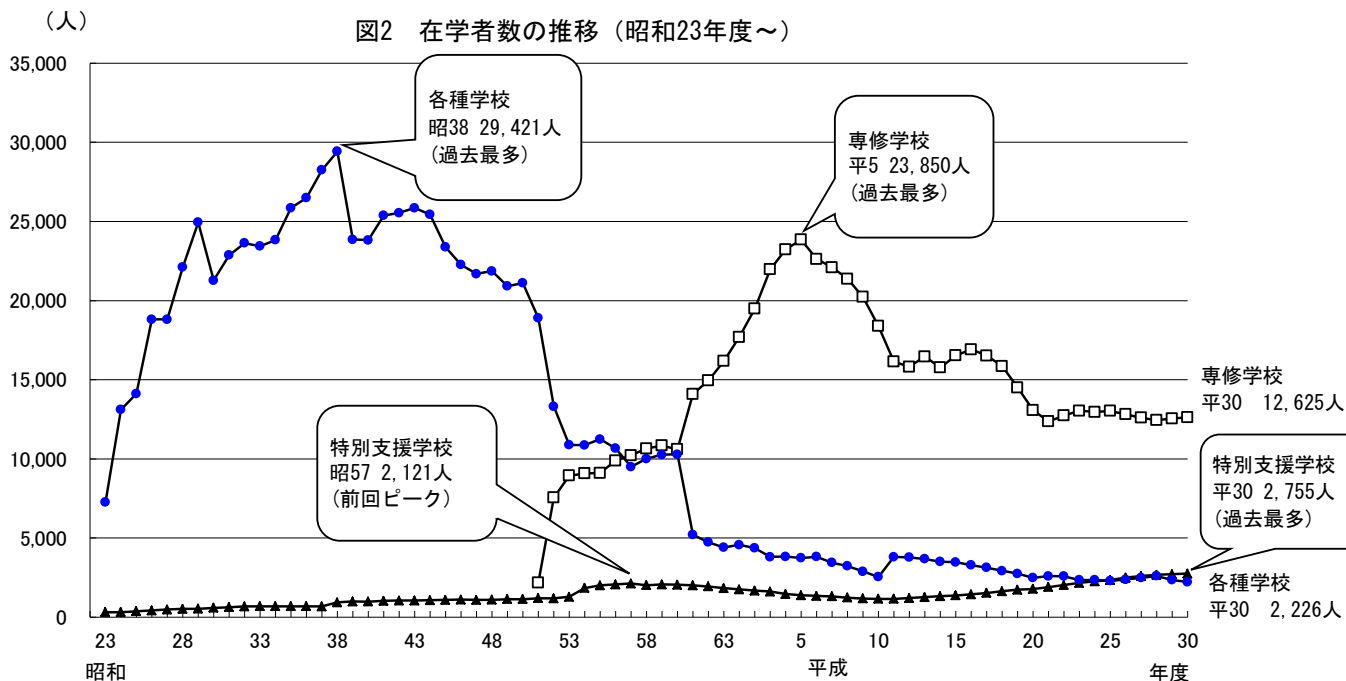
- 幼稚園園児数は、ピーク時（昭和53年度58,810人）の44.3%。
- 小学校児童数は、第二次ピーク時（昭和57年度285,573人）の53.1%。
- 中学校生徒数は、第二次ピーク時（昭和62年度145,362人）の51.6%。
- 高等学校生徒数は、第二次ピーク時（平成2年度139,679人）の53.8%。

図1 在学者数の推移（昭和23年度～）



- 特別支援学校在学者数は、前回ピーク時（昭和57年度2,121人）よりも634人多い。
- 専修学校生徒数は、ピーク時（平成5年度23,850人）の52.9%。
- 各種学校生徒数は、ピーク時（昭和38年度29,421人）の7.6%。

図2 在学者数の推移（昭和23年度～）

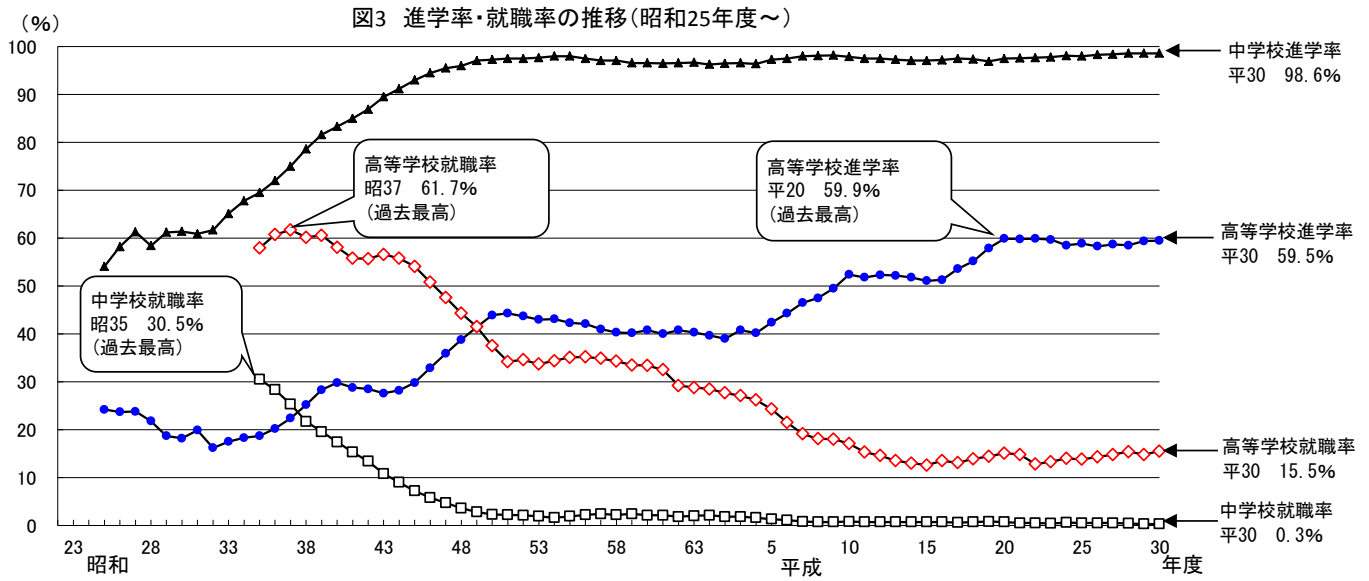


<中学校卒業後の状況>

○進学率は前年度とほぼ同数の98.6%、就職率も前年度とほぼ同数の0.3%である。

<高等学校卒業後の状況>

○進学率は前年度より0.1ポイント上昇し59.5%、就職率は前年度より0.7ポイント上昇し15.5%である。



注)昭和25年度以前の進学率及び昭和35年度以前の就職率は不詳。

[幼稚園・幼保連携型認定こども園] 「幼保連携型認定こども園」は、以下、図中は「こども園」とする。

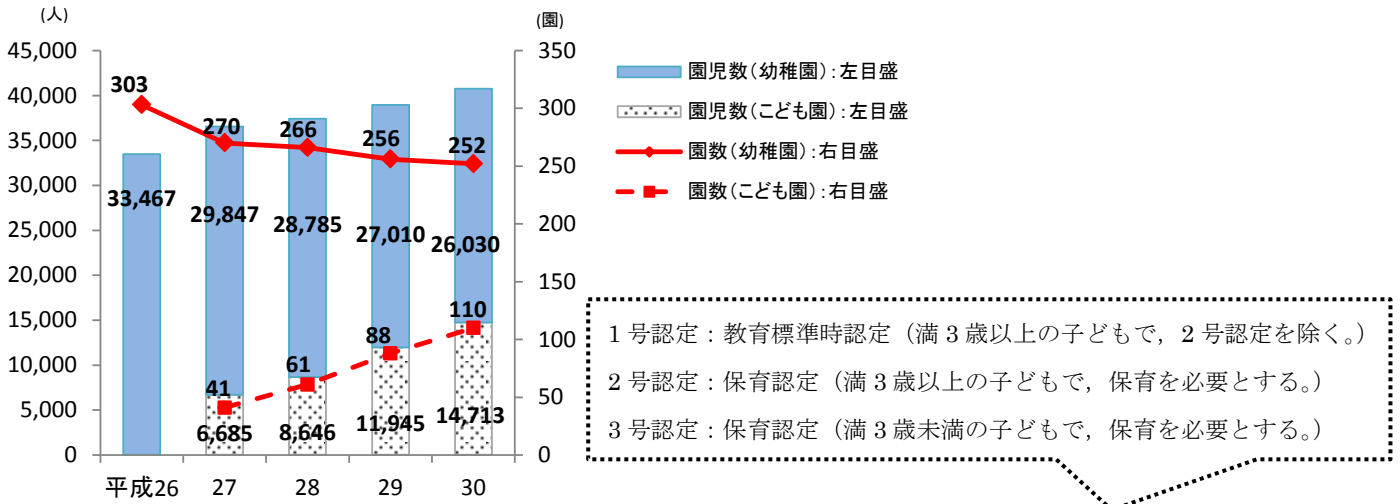
(1) 学校数・園児数

幼保連携型認定こども園への移行により、幼稚園の園数・園児数は減少している。[図4]

幼稚園では5歳児が最も多い。[図5] 幼保連携型認定こども園では3～5歳児が72.1%を占めている。[図6]

幼保連携型認定こども園の認定号別では、保育が必要な2号認定及び3号認定が70.3%を占めている。[図7]

図4 幼稚園及びこども園の園数・園児数



1号認定：教育標準時認定（満3歳以上の子どもで、2号認定を除く。）
 2号認定：保育認定（満3歳以上の子どもで、保育を必要とする。）
 3号認定：保育認定（満3歳未満の子どもで、保育を必要とする。）

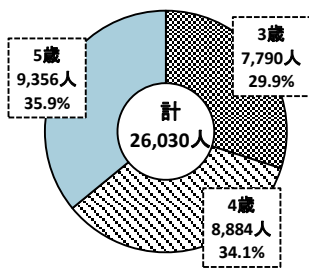


図5 幼稚園 園児数内訳

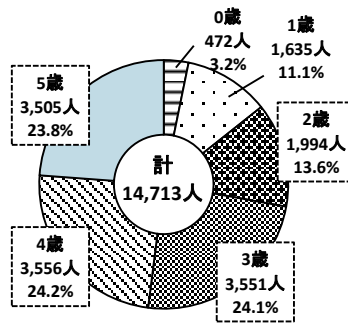


図6 こども園 園児数内訳

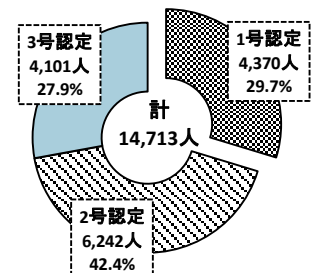


図7 こども園 認定号内訳

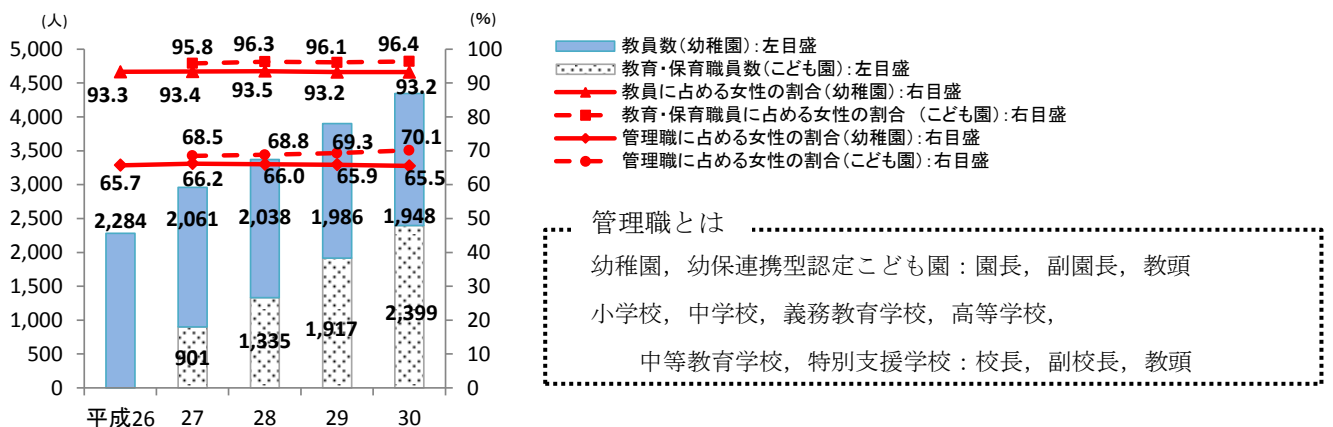
(2) 教員，教育・保育職員数（本務者）

幼保連携型認定こども園の教育・保育職員数（本務者）は、今年度幼稚園の教員数（本務者）を上回った。[図8]

教員，教育・保育職員に占める女性の割合はいずれも90%台，管理職に占める女性の割合は，幼稚園では60%台

後半で推移しており，幼保連携型認定こども園では今年度70%を上回った。[図8]

図8 幼稚園及びこども園の教員，教育・保育職員数・教員，教育・保育職員に占める女性の割合・管理職に占める女性の割合

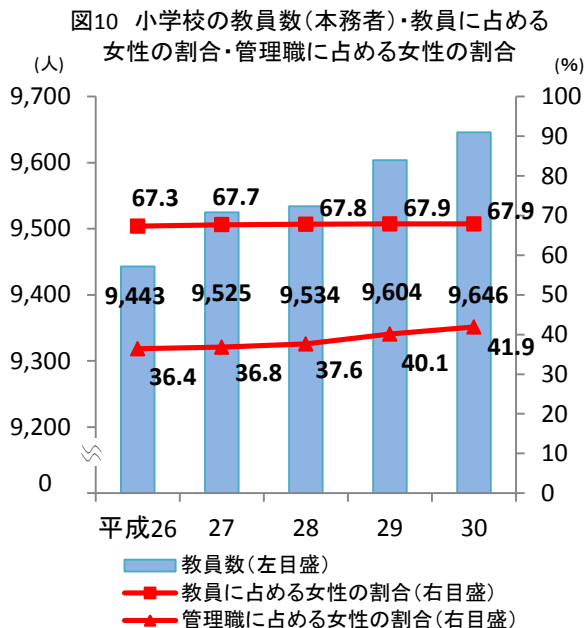
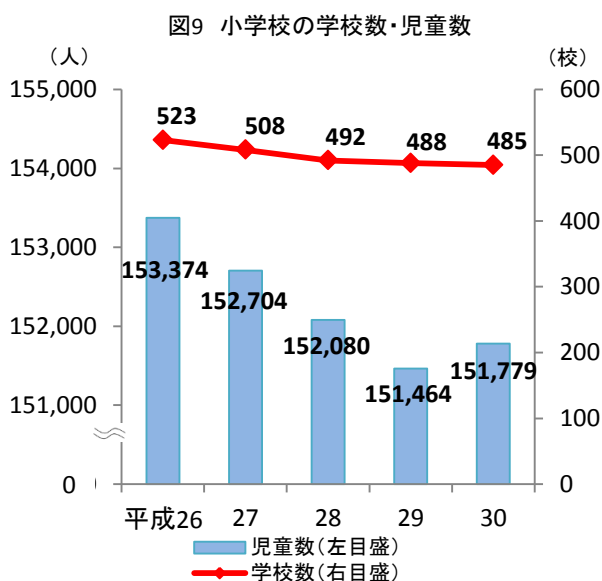


管理職とは
 幼稚園，幼保連携型認定こども園：園長，副園長，教頭
 小学校，中学校，義務教育学校，高等学校，
 中等教育学校，特別支援学校：校長，副校長，教頭

〔小学校〕

学校数は昨年度より3校減少した。児童数は今年度36年ぶりに増加した。〔図9〕

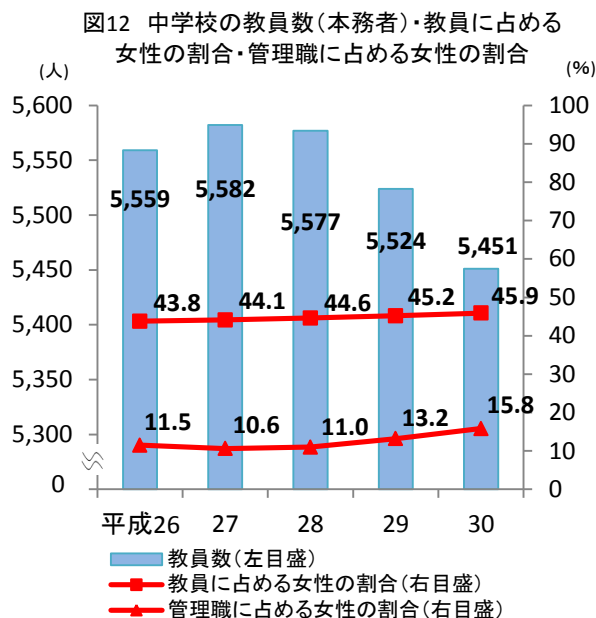
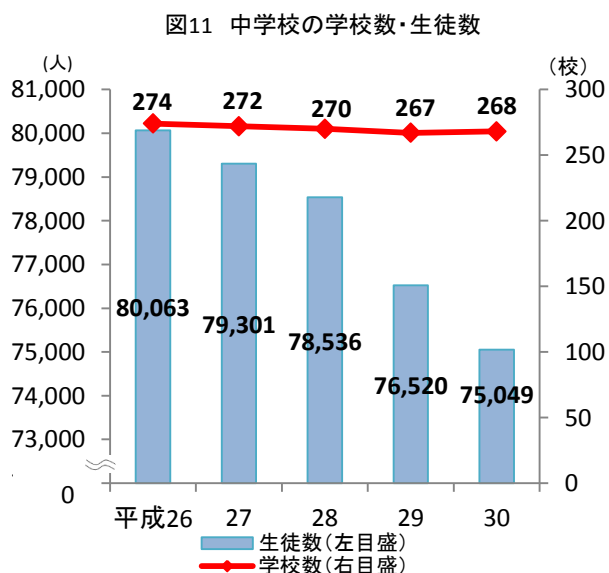
教員数（本務者）は増加傾向が続いている。また、教員に占める女性の割合は60%台後半で推移している。管理職に占める女性の割合は30%台後半で推移してきたが、昨年度から40%を上回った。〔図10〕



〔中学校〕

学校数は昨年度より1校増加した。生徒数は減少傾向が続いている。〔図11〕

教員数（本務者）は3年連続で減少している。教員に占める女性の割合は40%台半ばで推移している。管理職に占める女性の割合は10%台前半で推移したが、今年度は15%を上回った。〔図12〕



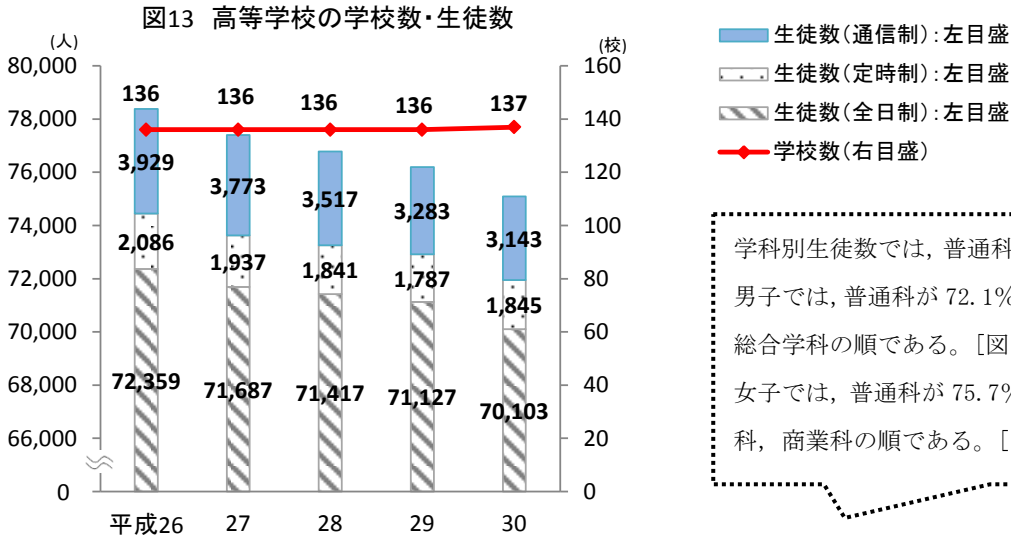
〔義務教育学校〕

義務教育学校は、今年度1校新設され、3校となった。児童生徒数は1,353人、教員数（本務者）は109人である。

[高等学校]

(1) 学校数・生徒数

高等学校は全日制が1校増加した。生徒数は4年連続で減少している。[図13]



学科別生徒数では、普通科が73.9%を占めている。[図14]
 男子では、普通科が72.1%を占め最も多く、次いで工業科、総合学科の順である。[図15]
 女子では、普通科が75.7%を占め最も多く、次いで総合学科、商業科の順である。[図16]

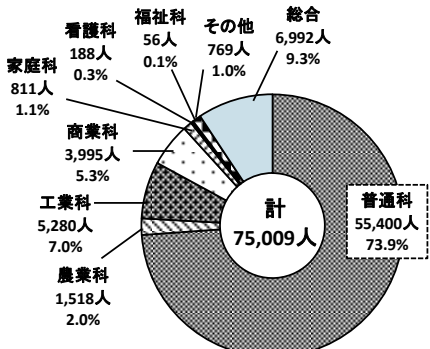


図14 学科別生徒数

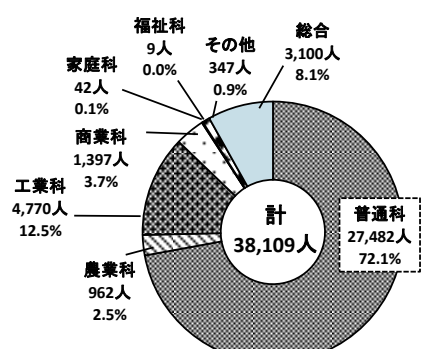


図15 学科別生徒数(男)

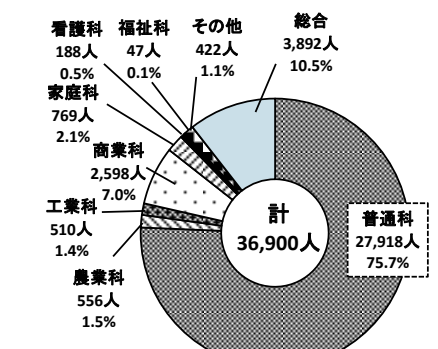
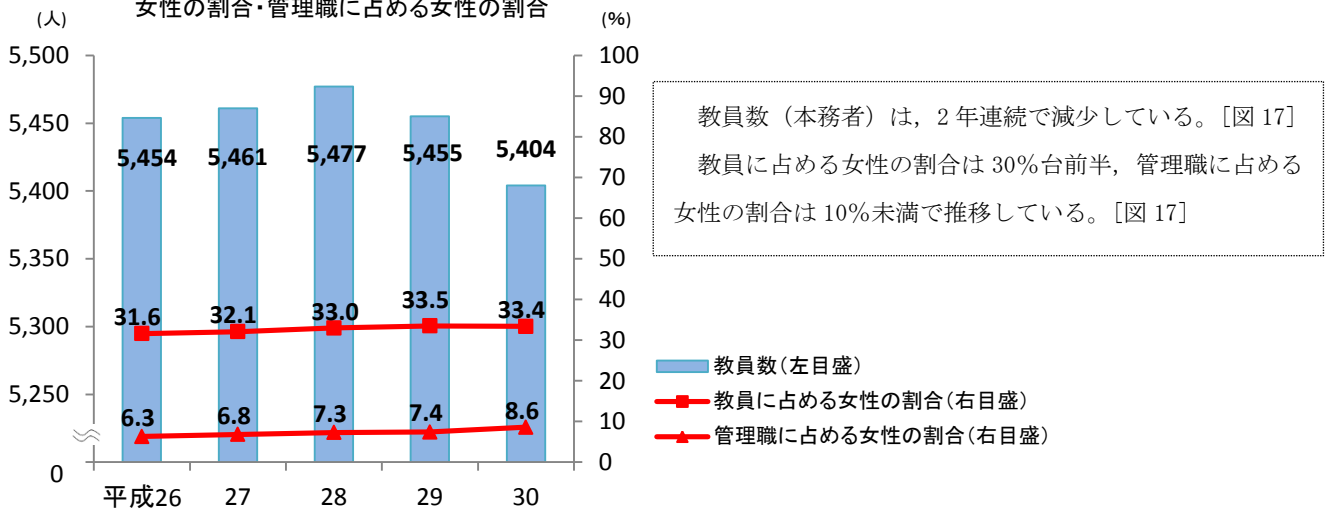


図16 学科別生徒数(女)

注) 図14, 図15及び図16は本科生の学科別生徒数を表したもので、専攻科生82名は除く。

(2) 教員数(本務者)

図17 高等学校の教員数(本務者)・教員に占める女性の割合・管理職に占める女性の割合



教員数(本務者)は、2年連続で減少している。[図17]
 教員に占める女性の割合は30%台前半、管理職に占める女性の割合は10%未満で推移している。[図17]

[中等教育学校]

後期課程の開始から2年目。前・後期課程合わせて生徒数は585人、教員数(本務者)は40人である。

〔特別支援学校〕

今年度の在学者数は2,755人で過去最多を更新した。〔図18〕

教員数は前年度より5人減少した。また、教員に占める女性の割合は60%台で推移している。管理職に占める女性の割合は30%台後半で推移しているが、今年度は前年度より1.3ポイント減少し38.3%となった。〔図19〕

図18 特別支援学校の学校数・在学者数

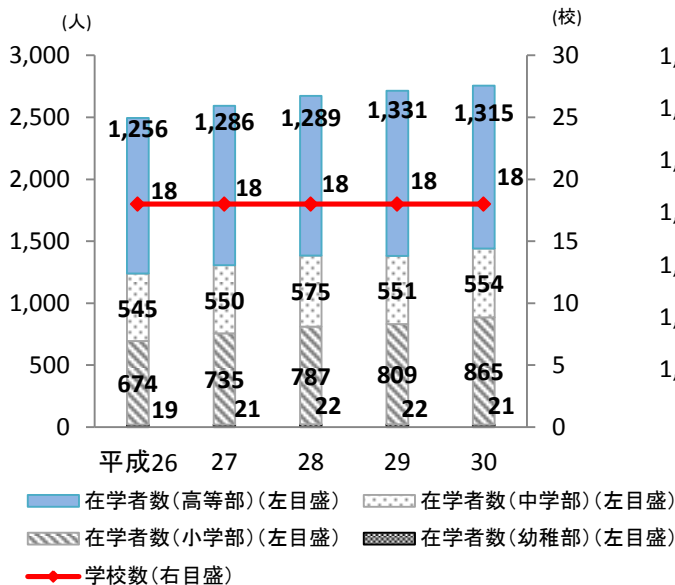
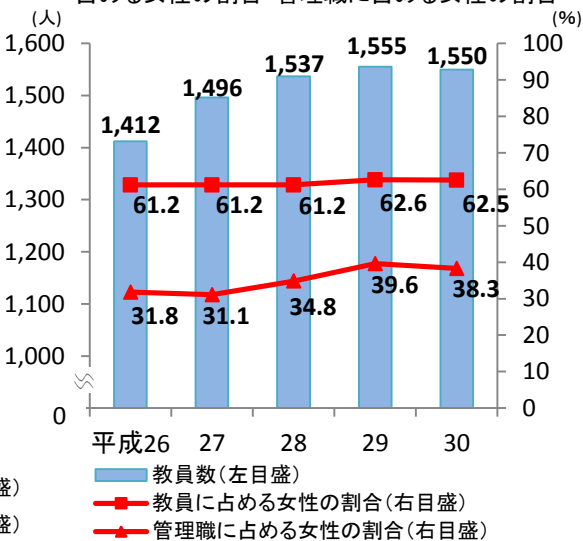


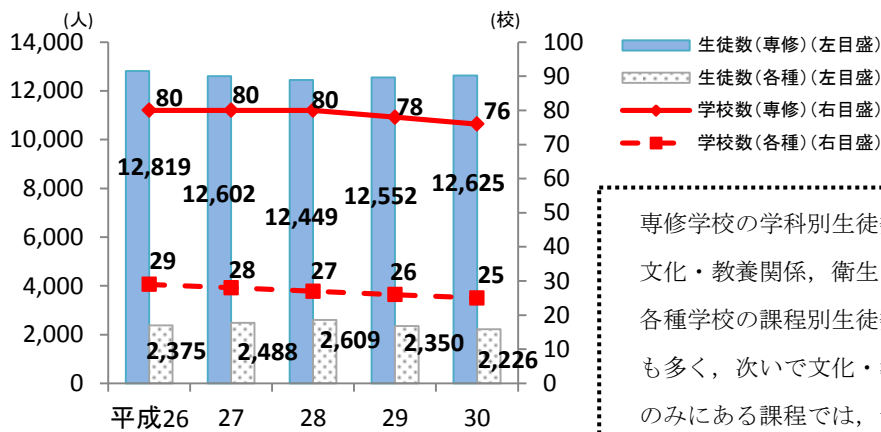
図19 特別支援学校の教員数(本務者)・教員に占める女性の割合・管理職に占める女性の割合



〔専修学校・各種学校〕

専修学校の学校数は2年連続で減少したが、生徒数は2年連続で増加した。各種学校の学校数は4年連続で減少し、生徒数は2年連続で減少した。〔図20〕

図20 専修学校及び各種学校の学校数・生徒数



専修学校の学科別生徒数は、医療関係が33.1%を占め最も多く、次いで文化・教養関係、衛生関係の順である。〔図21〕

各種学校の課程別生徒数は、各種学校のみにある課程が73.9%を占め最も多く、次いで文化・教養関係、医療関係の順である。また、各種学校のみにある課程では、予備校の生徒数が80.5%を占めている。〔図22〕

図21 学科別生徒数(専修学校)

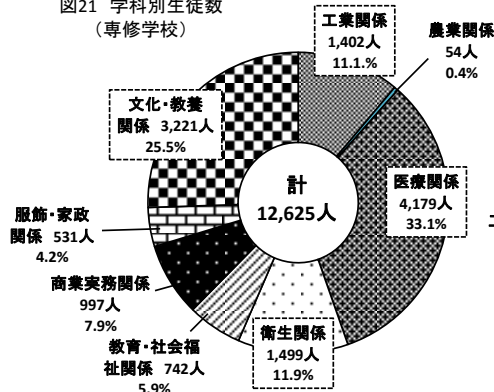
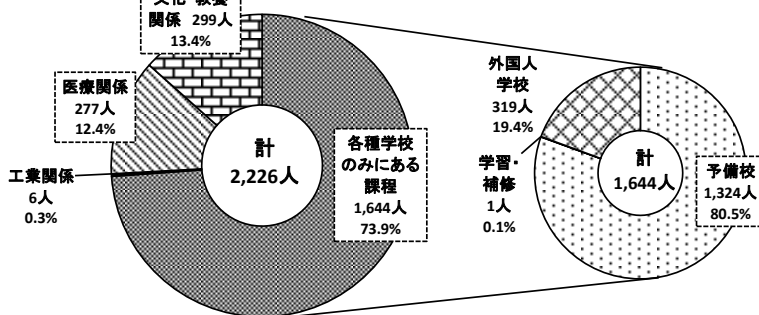
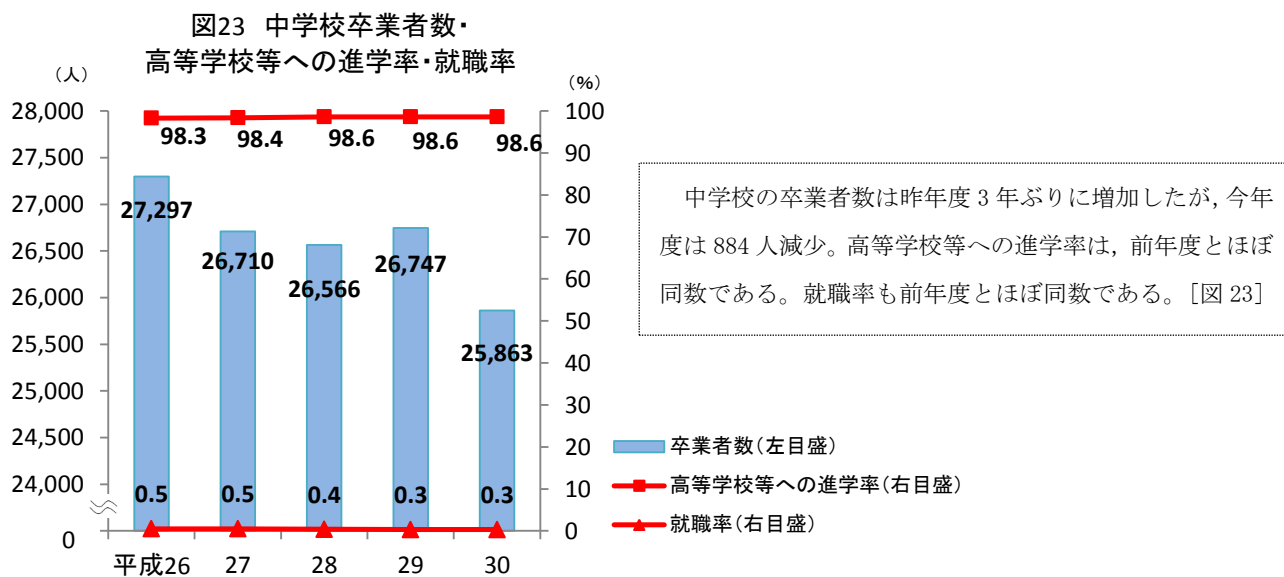


図22 課程別生徒数(各種学校)

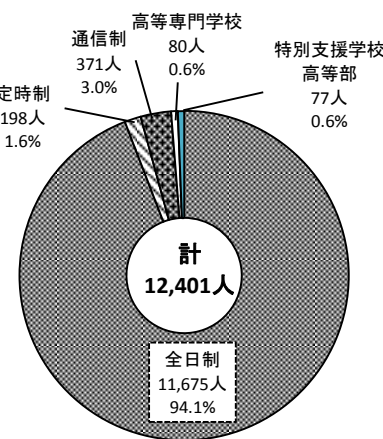
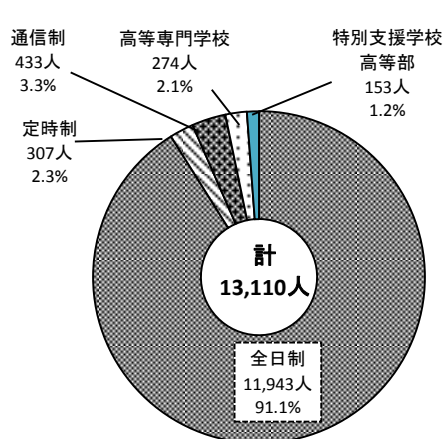


[中学校卒業後の状況]

(1) 卒業後の状況



(2) 高等学校等進学者



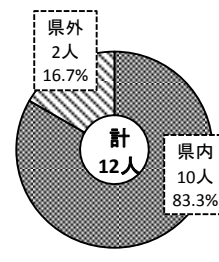
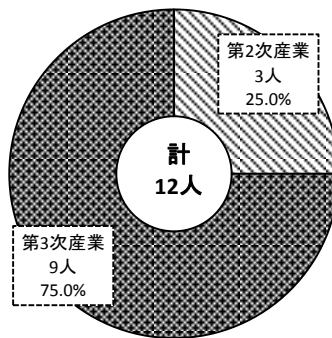
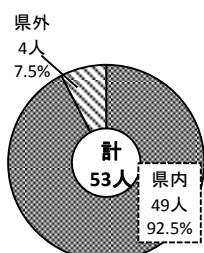
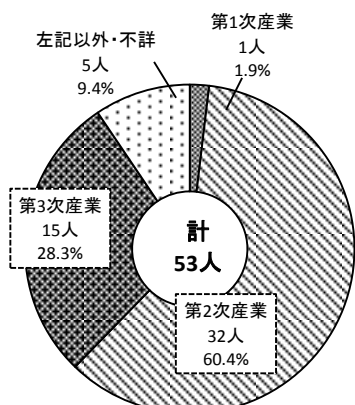
女子の進学者に占める全日制進学者の割合は94.1%で、男子を3.0ポイント上回っている。進学者に占める全日制以外の進学者の割合は、全て男子が上回っている。[図24], [図25]

図24 高等学校等進学者内訳(男)

図25 高等学校等進学者内訳(女)

(3) 就職者

男子では第2次産業への就職が60.4%を占めている。92.5%が県内で就職している。[図26], [図27]
女子では第3次産業が75.0%を占めている。83.3%が県内で就職している。[図28], [図29]



注) 就職者とは、卒業者のうち自営業主等、無期雇用労働者、進学・入学した者のうち就職している者及び有期雇用労働者のうち雇用契約期間が1年以上かつフルタイム勤務相当の者の計である。

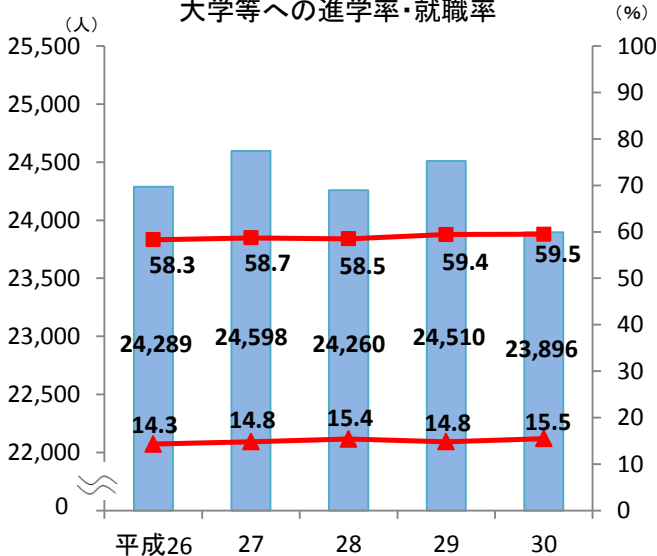
[義務教育学校卒業後の状況]

129人が卒業し、うち122人が高等学校全日制に、2人が高等学校定時制に、4人が高等学校通信制に、1人が高等専門学校に進学した。進学率は100%である。

[高等学校卒業後の状況]

(1) 卒業後の状況

図30 高等学校卒業業者数・大学等への進学率・就職率



高等学校の卒業業者数は増減を繰り返しており、今年度は減少に転じている。
進学率は前年度より0.1ポイント上昇した。就職率は0.7ポイント上昇した。[図30]

■ 卒業業者数(左目盛)
■ 大学等への進学率(右目盛)
▲ 就職率(右目盛)

(2) 大学等進学者

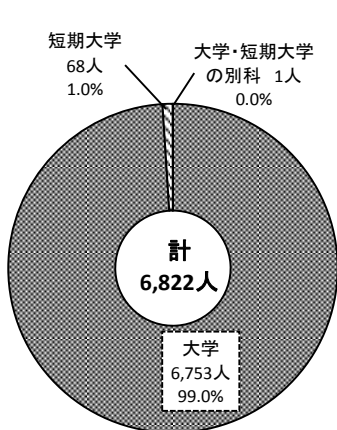


図31 大学等進学者内訳(男)

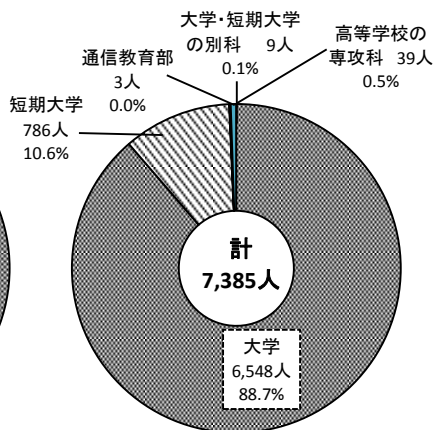


図32 大学等進学者内訳(女)

男子では大学進学者が99.0%を占めている。[図31]

女子では大学進学者が88.7%を占め、次いで短期大学進学者が10.6%を占めている。[図32]

(3) 専修学校等進学・入学者

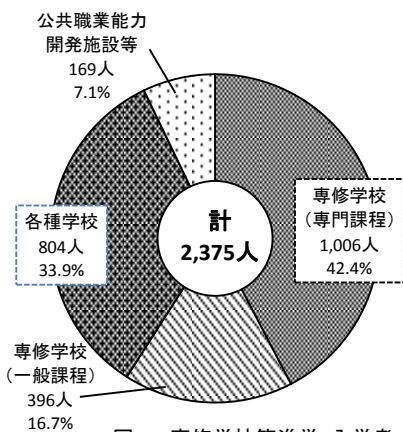


図33 専修学校等進学・入学者内訳(男)

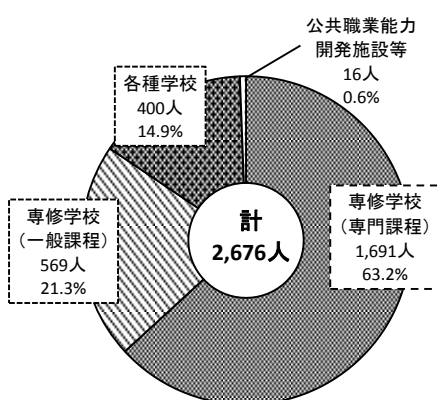


図34 専修学校等進学・入学者内訳(女)

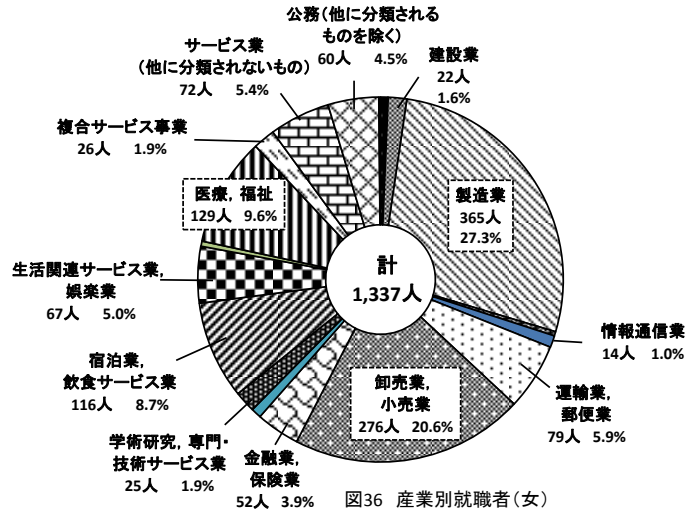
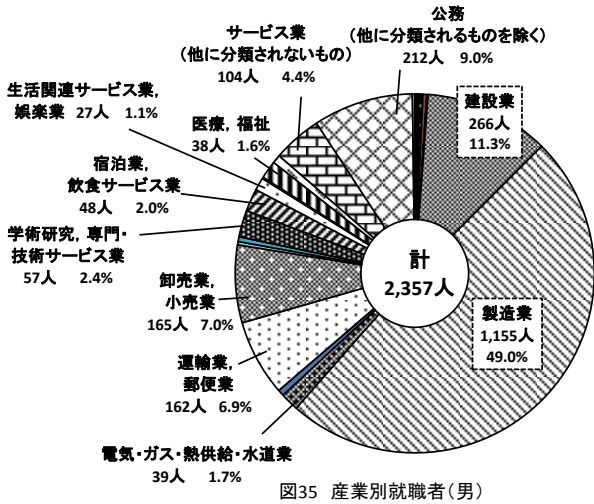
男女ともに専修学校(専門課程)が最も多くを占めているが、男子では次いで各種学校が33.9%を占め、女子では専修学校(一般課程)が21.3%を占めている。[図33], [図34]

(4) 就職者

<産業別> (1%以上を占めるもののみ表示。計は全数表示。)

男子では「製造業」が49.0%を占め最も多く、次いで「建設業」、「公務（他に分類されるものを除く）」の順である。[図35]

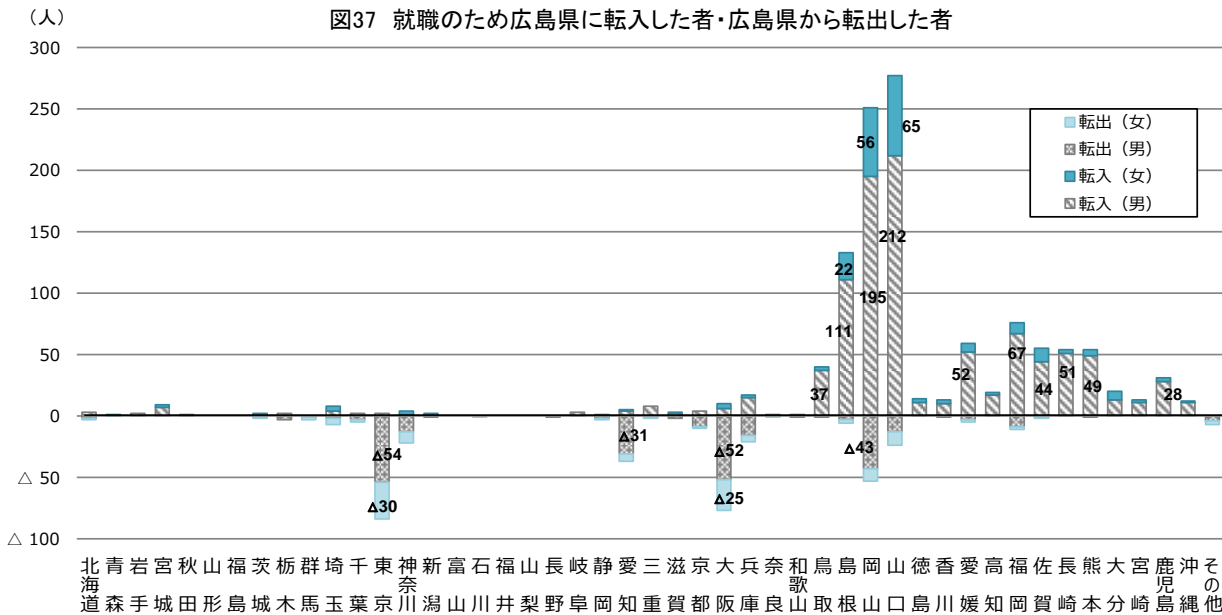
女子では「製造業」が27.3%を占め最も多く、次いで「卸売業、小売業」、「医療、福祉」の順である。[図36]



<地域別>

全体として転入超過で、特に男子の転入者が多い。転入元として最も多いのは山口県で、次いで岡山県、島根県の順である。転出先として最も多いのは東京都で、次いで大阪府、岡山県の順である。[図37]

図37 就職のため広島県に転入した者・広島県から転出した者



転入	計	1,212
	男	990
転出	計	△ 397
	男	△ 274
入出	計	815
	男	716
	女	99

〔中等教育学校前期課程修了後の状況〕

116人が前期課程を修了し、うち114人が中等教育学校後期課程に、1人が高等学校全日制に、1人が高等学校定時制に進学した。進学率は100%である。

〔特別支援学校卒業後の状況〕

＜中学部＞

186人が中学部を卒業し、うち183人が特別支援学校高等部に、1人が高等学校全日制に進学、2人が左記以外の者となっている。進学率は98.9%である。

＜高等部＞

(1) 卒業後の状況

428人が高等部を卒業し、うち6人が大学等進学、1人が公共職業能力開発校等、150人が就職、271人が左記以外の者となっている。左記以外の者のうち、社会福祉施設等入所・通所者は、児童福祉施設10人、障害者支援施設等246人、医療機関3人などである。また、障害者支援施設等のうち就労系支援事業利用者は127人である。

進学率は1.4%で、就職率は全体で35.0%、男子37.0%、女子31.3%である。

(2) 大学等進学者

進学者数は6人で、うち5人が大学（学部）に、1人が特別支援学校高等部専攻科に進学した。

(3) 就職者

男子では、「製造業」が49.0%を占め、次いで「卸売業、小売業」、「医療、福祉」の順である。〔図38〕

女子では、「卸売業、小売業」が30.4%を占め、次いで「製造業」、「宿泊業、飲食サービス業」の順である。〔図39〕

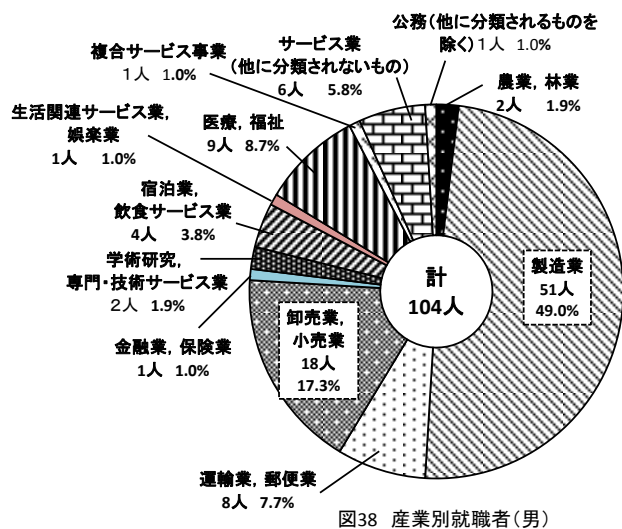


図38 産業別就職者(男)

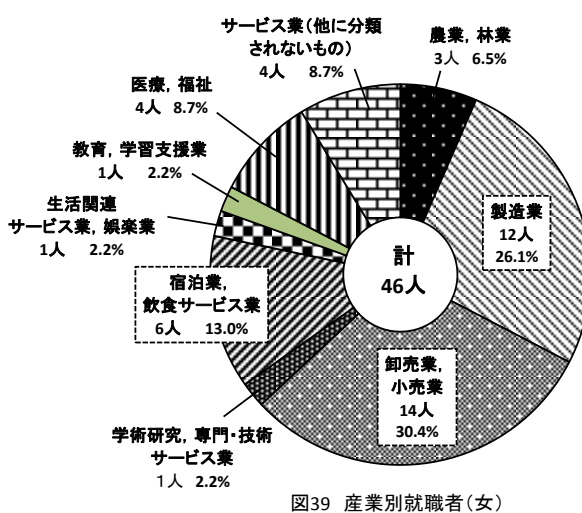


図39 産業別就職者(女)

〔不就学学齢児童生徒調査〕

就学免除者数は15人で、就学猶予者数は0人である。1年以上居所不明者数は0人である。

学齢児童生徒死亡者数（前年度間）は11人である。

[参考]

小学校相当児童数，中学校相当生徒数及び高等学校相当生徒数について

小学校相当児童数は，平成29年度から2年連続で増加している。[図40]

中学校相当生徒数は，減少傾向である。[図41]

高等学校相当生徒数は，減少傾向である。[図42]

図40 小学校相当児童数

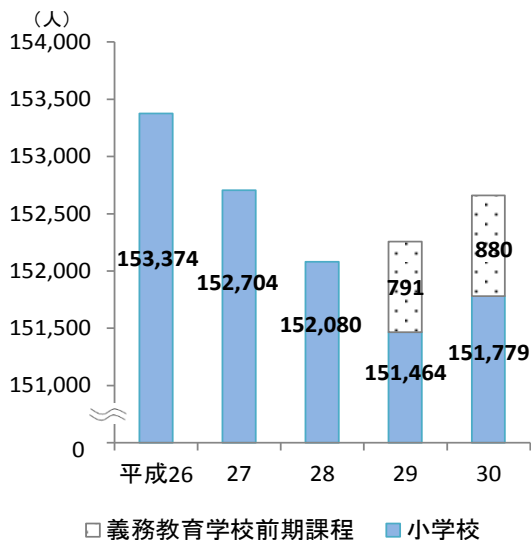


図41 中学校相当生徒数

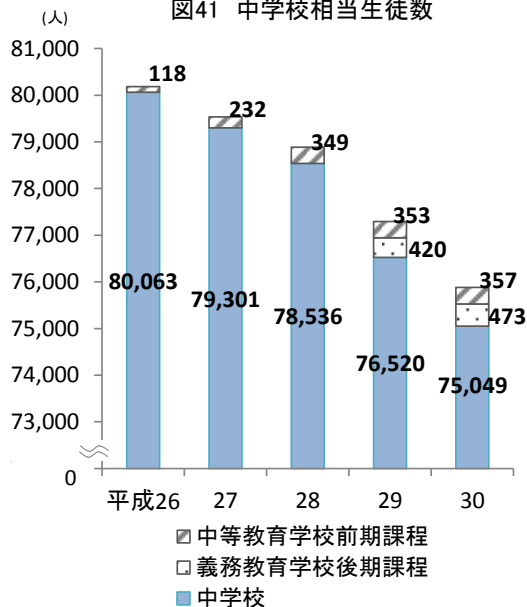
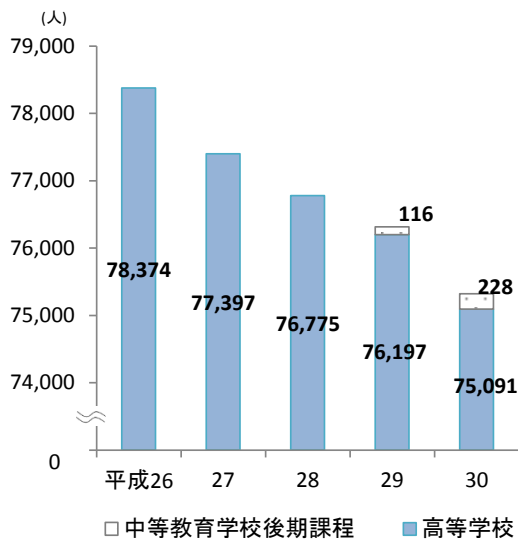


図42 高等学校相当生徒数



II 学校調査

1 幼稚園

[表1]園数・学級数・園児数・教員数(本務者)の推移

年度	園数		学級数		園児数		1園当たりの園児数		1学級当たりの園児数		教員数(本務者)		教員1人当たりの園児数	
	対前年増減数	園	対前年増減数	学級	対前年増減数	人	対前年増減数	園児数	対前年増減数	園児数	対前年増減数	教員数(本務者)	対前年増減数	園児数
H26	△2	303	△27	1,481	△312	33,467	110.5	△0.3	22.6	0.2	2,284	△40	14.7	0.1
H27	△33	270	△183	1,298	△3,620	29,847	110.5	0.1	23.0	0.4	2,061	△223	14.5	△0.2
H28	△4	266	△29	1,269	△1,062	28,785	108.2	△2.3	22.7	△0.3	2,038	△23	14.1	△0.4
H29	△10	256	△65	1,204	△1,775	27,010	105.5	△2.7	22.4	△0.2	1,986	△52	13.6	△0.5
H30	△4	252	△25	1,179	△980	26,030	103.3	△2.2	22.1	△0.4	1,948	△38	13.4	△0.2
国立	-	2	-	6	-	153	76.5	-	25.5	-	10	△1	15.3	1.4
公立	△2	83	△8	134	△365	2,387	28.8	△3.6	17.8	△1.6	246	△23	9.7	△0.5
私立	△2	167	△17	1,039	△615	23,490	140.7	△2.0	22.6	△0.2	1,692	△14	13.9	△0.2
男	13,042	△587	132	△3
女	12,988	△393	1,816	△35

(1) 園数(表1)

ア 園数は252園で、前年度より4園減少している。

イ 設置者別では、国立2園、公立83園、私立167園で、前年度より公立は2園、私立は2園減少している。

(2) 学級数(表1)

ア 学級数は1,179学級で、前年度より25学級減少している。

(3) 園児数(表1, 統計表2)

ア 園児数は26,030人で、前年度より980人減少している。

イ 男女別では、男子13,042人、女子12,988人で、前年度より男子は587人、女子は393人減少している。

ウ 年齢別では、3歳児7,790人、4歳児8,884人、5歳児9,356人で、前年度より3歳児は100人、4歳児は428人、5歳児は452人減少している。

エ 1園当たりの園児数は103.3人で、前年度より2.2人減少している。

オ 1学級当たりの園児数は22.1人で、前年度より0.4人減少している。

(4) 教員数(本務者)(表1, 統計表2)

ア 教員数(本務者)は1,948人で、前年度より38人減少している。

イ 設置者別では、国立10人、公立246人、私立1,692人で、前年度より国立は1人、公立は23人、私立は14人減少している。

ウ 男女別では、男性132人、女性1,816人で、前年度より男性は3人、女性は35人減少している。

エ 教員(本務者)1人当たりの在園者数は13.4人で、前年度より0.2人減少している。

オ 教員(本務者)に占める女性の割合は93.2%で、前年度とほぼ同数。

(5) 入園者数(表2)

ア 入園者数は8,215人で、前年度より358人減少している。

イ 設置者別では、国立59人、公立1,121人、私立7,035人で、前年度より国立は1人増加し、公立は173人、私立は186人減少している。

ウ 男女別では、男子4,083人、女子4,132人で、前年度より男子は293人、女子は65人減少している。

エ 年齢別では、3歳児6,466人、4歳児1,438人、5歳児311人で、前年度より3歳児は146人、4歳児は168人、5歳児は44人減少している。

[表2]年齢別入園者数の推移

年度	入園者数		3歳児		4歳児		5歳児	
	対前年増減数	増減数	対前年増減数	増減数	対前年増減数	増減数	対前年増減数	増減数
	人							
H26	11,490	△ 45	8,592	△ 34	2,402	△ 1	496	△ 10
H27	10,028	△ 1,462	7,462	△ 1,130	2,073	△ 329	493	△ 3
H28	9,165	△ 863	7,002	△ 460	1,782	△ 291	381	△ 112
H29	8,573	△ 592	6,612	△ 390	1,606	△ 176	355	△ 26
H30	8,215	△ 358	6,466	△ 146	1,438	△ 168	311	△ 44
国立	59	1	41	4	18	△ 3	-	-
公立	1,121	△ 173	192	△ 21	820	△ 106	109	△ 46
私立	7,035	△ 186	6,233	△ 129	600	△ 59	202	2
男	4,083	△ 293	3,213	△ 187	702	△ 102	168	△ 4
女	4,132	△ 65	3,253	41	736	△ 66	143	△ 40

(6) 認可定員及び定員充足率 (表 3)

ア 認可定員は 41,551 人で、前年度より 466 人減少している。

設置者別では、国立 160 人、公立 7,937 人、私立が 33,454 人で、前年度より公立は 270 人、私立は 196 人減少している。

イ 定員充足率は 62.6% で、前年度より 1.7 ポイント低下している。

設置者別では、国立 95.6%、公立 30.1%、私立 70.2% で、前年度より公立は 3.4 ポイント、私立は 1.4 ポイント低下している。

[表3]認可定員・定員充足率の推移

年度	総数			国立			公立			私立		
	認可定員	園児数	定員充足率	認可定員	園児数	定員充足率	認可定員	園児数	定員充足率	認可定員	園児数	定員充足率
	人			人			人			人		
	%			%			%			%		
H26	49,806	33,467	67.2	250	198	79.2	10,350	3,747	36.2	39,206	29,522	75.3
H27	44,502	29,847	67.1	210	182	86.7	9,175	3,323	36.2	35,117	26,342	75.0
H28	43,412	28,785	66.3	160	162	101.3	8,432	3,038	36.0	34,820	25,585	73.5
H29	42,017	27,010	64.3	160	153	95.6	8,207	2,752	33.5	33,650	24,105	71.6
H30	41,551	26,030	62.6	160	153	95.6	7,937	2,387	30.1	33,454	23,490	70.2

(7) 修了者数及び小学校第1学年児童に占める幼稚園修了者数の割合 (就園率) (表 4)

ア 修了者数は 9,756 人で、前年度より 643 人減少している。

設置者別では、国立 57 人、公立 1,433 人、私立 8,266 人で、前年度より国立は 6 人、公立は 88 人、私立は 549 人減少している。

イ 就園率は 38.8% で、前年度より 1.8 ポイント低下している。

設置者別では、国立 0.2%、公立 5.7%、私立 32.9% で、前年度より公立は 0.2 ポイント、私立は 1.5 ポイント低下している。

[表4]修了者数・小学校第1学年に占める幼稚園修了者の割合(就園率)の推移

年度	総数			国立		公立		私立	
	小学校第1学年	幼稚園修了者	就園率	幼稚園修了者	就園率	幼稚園修了者	就園率	幼稚園修了者	就園率
	人			人		人		人	
	%			%		%		%	
H26	25,631	12,051	47.0	73	0.3	1,867	7.3	10,111	39.4
H27	25,527	11,818	46.3	73	0.3	1,811	7.1	9,934	38.9
H28	25,508	10,696	41.9	77	0.3	1,701	6.7	8,918	35.0
H29	25,632	10,399	40.6	63	0.2	1,521	5.9	8,815	34.4
H30	25,146	9,756	38.8	57	0.2	1,433	5.7	8,266	32.9

注) H29年度以降の小学校第1学年には、義務教育学校前期課程第1学年を含む。なお、設置者別の就園率は、小学校第1学年に占める設置者別修了者の割合を出している。

2 幼保連携型認定こども園

[表5]園数・学級数・園児数・教育・保育職員数(本務者)の推移

年度	園数		学級数		園児数		1園当たりの園児数		1学級当たりの園児数		教育・保育職員数(本務者)		教員1人当たりの園児数		
	対前年増減数	園	対前年増減数	学級	対前年増減数	人	対前年増減数	園児数	対前年増減数	園児数	対前年増減数	本務者	対前年増減数	園児数	対前年増減数
H26	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
H27	41	41	241	241	6,685	6,685	163.0	163.0	27.7	27.7	901	901	7.4	7.4	
H28	61	20	313	72	8,646	1,961	141.7	△21.3	27.6	△0.1	1,335	434	6.5	△0.9	
H29	88	27	428	115	11,945	3,299	135.7	△6.0	27.9	0.3	1,917	582	6.2	△0.2	
H30	110	22	536	108	14,713	2,768	133.8	△2.0	27.4	△0.5	2,399	482	6.1	△0.1	
国立	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
公立	4	1	21	6	510	163	127.5	11.8	24.3	1.2	68	22	7.5	△0.0	
私立	106	21	515	102	14,203	2,605	134.0	△2.4	27.6	△0.5	2,331	460	6.1	△0.1	
男	7,466	1,387	86	12	
女	7,247	1,381	2,313	470	

注)学級数は、0～2歳児は調査していないため、3～5歳児のみの学級数である。

(1) 園数 (表 5)

- ア 園数は110園で、前年度より22園増加している。
- イ 設置者別では、公立4園、私立106園で、前年度より公立は1園、私立は21園増加している。

(2) 学級数 (3～5歳児) (表 5)

- ア 学級数は536学級で、前年度より108学級増加している。
- イ 設置者別では、公立21学級、私立515学級で、前年度より公立は6学級、私立は102学級増加している。

(3) 園児数 (表 5, 統計表 3)

- ア 在園者数は14,713人で、前年度より2,768人増加している。
- イ 設置者別では、公立510人、私立14,203人で、前年度より公立は163人、私立は2,605人増加している。
- ウ 男女別では、男子7,466人、女子7,247人で、前年度より男子は1,387人、女子は1,381人増加している。
- エ 年齢別では、0歳児472人、1歳児1,635人、2歳児1,994人、3歳児3,551人、4歳児3,556人、5歳児3,505人で、前年度より0歳児151人、1歳児293人、2歳児502人、3歳児560人、4歳児623人、5歳児639人増加している。
- オ 認定号別では、1号認定4,370人、2号認定6,242人、3号認定4,101人で、前年度より1号認定282人、2号認定1,540人、3号認定946人増加している。
- カ 1園当たりの園児数は133.8人で、前年度より2.0人減少している。
- キ 1学級当たりの園児数は27.4人で、前年度より0.5人減少している。

(4) 教育・保育職員数(本務者) (表 5, 統計表 3)

- ア 教育・保育職員数(本務者)は2,399人で、前年度より482人増加している。
- イ 設置者別では、公立68人、私立2,331人で、前年度より公立は22人、私立は460人増加している。
- ウ 男女別では、男性86人、女性2,313人で、前年度より男性は12人、女性は470人増加している。
- エ 教育・保育職員(本務者)1人当たりの園児数は6.1人で、前年度より0.1人減少している。
- オ 教育・保育職員(本務者)に占める女性の割合は96.4%で、前年度より0.3ポイント上昇している。

(5) 入園者数 (3～5歳児) (表 6)

- ア 入園者数は3,312人で、前年度より250人増加している。
- イ 設置者別では、公立188人、私立3,124人で、前年度より公立は123人、私立は127人増加している。

ウ 男女別では、男子 1,636 人、女子 1,676 人で、前年度より男子は 51 人、女子は 199 人増加している。

エ 年齢別では、3 歳児 1,951 人、4 歳児 737 人、5 歳児 624 人で、前年度より 3 歳児は 407 人増加し、4 歳児は 47 人、5 歳児は 110 人減少している。

[表6]年齢別入園者数の推移

年度	入園者数		3歳児		4歳児		5歳児	
	対前年増減数	増減数	対前年増減数	増減数	対前年増減数	増減数	対前年増減数	
	人							
H26	-	-	-	-	-	-	-	-
H27	5,181	5,181	1,619	1,619	1,801	1,801	1,761	1,761
H28	2,548	△2,633	1,387	△232	578	△1,223	583	△1,178
H29	3,062	514	1,544	157	784	206	734	151
H30	3,312	250	1,951	407	737	△47	624	△110
国立	-	-	-	-	-	-	-	-
公立	188	123	109	53	45	42	34	28
私立	3,124	127	1,842	354	692	△89	590	△138
男	1,636	51	934	110	385	△22	317	△37
女	1,676	199	1,017	297	352	△25	307	△73

注)0～2歳児は入園年度を調査していないため、入園者数に含まない。

(6) 認可定員及び定員充足率 (表 7)

ア 認可定員は 16,515 人で、前年度より 2,867 人増加している。

設置者別では、公立 721 人、私立 15,794 人で、前年度より公立は 216 人、私立は 2,651 人増加している。

イ 定員充足率は 89.1%で、前年度より 1.6 ポイント上昇している。

設置者別では、公立 70.7%、私立 89.9%で、前年度より公立は 2.0 ポイント、私立は 1.7 ポイント上昇している。

[表7]認可定員・定員充足率の推移

年度	総数			国立			公立			私立		
	認可定員	園児数	定員充足率	認可定員	園児数	定員充足率	認可定員	園児数	定員充足率	認可定員	園児数	定員充足率
	人			人			人			人		
	%			%			%			%		
H26	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
H27	7,665	6,685	87.2	-	-	-	505	336	66.5	7,160	6,349	88.7
H28	10,074	8,646	85.8	-	-	-	505	334	66.1	9,569	8,312	86.9
H29	13,648	11,945	87.5	-	-	-	505	347	68.7	13,143	11,598	88.2
H30	16,515	14,713	89.1	-	-	-	721	510	70.7	15,794	14,203	89.9

(7) 修了者数及び小学校第 1 学年児童に占める幼保連携型認定こども園修了者の割合 (就園率) (表 8)

ア 修了者数は 2,873 人で、前年度より 603 人増加している。

設置者別では、公立 100 人、私立 2,773 人で、前年度より公立は 6 人、私立は 597 人増加している。

イ 就園率は 11.4%で、前年度より 2.5 ポイント上昇している。

設置者別では、公立 0.4%、私立 11.0%で、前年度より私立は 2.5 ポイント上昇している。

[表8]修了者数・小学校第1学年に占める幼保連携型認定こども園修了者の割合(就園率)の推移

年度	総数			国立		公立		私立	
	小学校第1学年	こども園修了者	就園率	こども園修了者	就園率	こども園修了者	就園率	こども園修了者	就園率
	人			人		人		人	
	%			%		%		%	
H26	25,631	-	-	-	-	-	-	-	-
H27	25,527	-	-	-	-	-	-	-	-
H28	25,508	1,643	6.4	-	-	99	0.4	1,544	6.1
H29	25,632	2,270	8.9	-	-	94	0.4	2,176	8.5
H30	25,146	2,873	11.4	-	-	100	0.4	2,773	11.0

注)H29年度以降の小学校第1学年には、義務教育学校前期課程第1学年を含む。なお、設置者別の就園率は、小学校第1学年に占める設置者別修了者の割合を出している。

3 小学校

[表9]学校数・学級数・児童数・教員数(本務者)の推移

年度	学校数		学級数		児童数		1校当たりの児童数		1学級当たりの児童数		教員数(本務者)		教員1人当たりの児童数	
	対前年増減数	増減数	対前年増減数	増減数	対前年増減数	増減数	対前年増減数	増減数	対前年増減数	増減数	対前年増減数	増減数	対前年増減数	増減数
	校		学級		人									
H26	523	△3	6,525	△35	153,374	△1,388	293.3	△0.9	23.5	△0.1	9,443	42	16.2	△0.3
H27	508	△15	6,534	9	152,704	△670	300.6	7.3	23.4	△0.1	9,525	82	16.0	△0.2
H28	492	△16	6,532	△2	152,080	△624	309.1	8.5	23.3	△0.1	9,534	9	16.0	△0.1
H29	488	△4	6,517	△15	151,464	△616	310.4	1.3	23.2	△0.0	9,604	70	15.8	△0.2
H30	485	△3	6,551	34	151,779	315	312.9	2.6	23.2	△0.1	9,646	42	15.7	△0.0
国立	3	-	42	-	1,180	△2	393.3	△0.7	28.1	△0.0	64	△1	18.4	0.3
公立	474	△3	6,426	34	148,763	286	313.8	2.5	23.2	△0.1	9,448	45	15.7	△0.0
私立	8	-	83	-	1,836	31	229.5	3.9	22.1	0.4	134	△2	13.7	0.4
男	77,502	△96	3,097	13
女	74,277	411	6,549	29

(1) 学校数 (表 9)

- ア 学校数は 485 校で、前年度より 3 校減少している。
- イ 設置者別では、国立 3 校、公立 474 校、私立 8 校で、前年度より公立は 3 校減少している。

(2) 学級数 (表 9, 統計表 4)

- ア 学級数は 6,551 学級で、前年度より 34 学級増加している。
- イ 設置者別では、国立 42 学級、公立 6,426 学級、私立 83 学級で、前年度より公立は 34 学級増加している。
- ウ 学級編制方式別では、単式学級 5,320 学級、複式学級 116 学級、特別支援学級 1,115 学級で、前年度より単式学級は 9 学級、複式学級は 7 学級減少し、特別支援学級は 50 学級増加している。

(3) 児童数 (表 9, 統計表 4)

- ア 児童数は 151,779 人で、前年度より 315 人増加している。
- イ 設置者別では、国立 1,180 人、公立 148,763 人、私立 1,836 人で、前年度より国立は 2 人減少し、公立は 286 人、私立は 31 人増加している。
- ウ 学級編制方式別では、単式学級 145,633 人、複式学級 1,035 人、特別支援学級 5,111 人で、前年度より単式学級は 100 人、複式学級は 101 人減少し、特別支援学級は 516 人増加している。
- エ 男女別では、男子 77,502 人、女子 74,277 人で、前年度より男子は 96 人減少し、女子は 411 人増加している。
- オ 外国人児童数は 974 人で、前年度より 129 人増加している。
- カ 1 校当たりの児童数は 312.9 人で、前年度より 2.6 人増加している。
- キ 1 学級当たりの児童数は 23.2 人で、前年度より 0.1 人減少している。

(4) 教員数(本務者) (表 9, 統計表 4)

- ア 教員数(本務者)は 9,646 人で、前年度より 42 人増加している。
- イ 設置者別では、国立 64 人、公立 9,448 人、私立 134 人で、前年度より国立は 1 人減少し、公立は 45 人増加し、私立は 2 人減少している。
- ウ 男女別では、男性 3,097 人、女性 6,549 人で、前年度より男性は 13 人、女性は 29 人増加している。
- エ 教員(本務者)1 人当たりの児童数は 15.7 人で、前年度とほぼ同数である。
- オ 教員(本務者)に占める女性の割合は 67.9%で、前年度とほぼ同数である。

4 中学校

[表10]学校数・学級数・生徒数・教員数(本務者)の推移

年度	学校数		学級数		生徒数		1校当たりの生徒数		1学級当たりの生徒数		教員数(本務者)		教員1人当たりの生徒数	
	対前年増減数		対前年増減数		対前年増減数		対前年増減数		対前年増減数		対前年増減数		対前年増減数	
	校		学級		人									
H26	274	△ 4	2,788	△ 11	80,063	△ 604	292.2	2.0	28.7	△ 0.1	5,559	10	14.4	△ 0.1
H27	272	△ 2	2,791	3	79,301	△ 762	291.5	△ 0.7	28.4	△ 0.3	5,582	23	14.2	△ 0.2
H28	270	△ 2	2,772	△ 19	78,536	△ 765	290.9	△ 0.7	28.3	△ 0.1	5,577	△ 5	14.1	△ 0.1
H29	267	△ 3	2,709	△ 63	76,520	△ 2,016	286.6	△ 4.3	28.2	△ 0.1	5,524	△ 53	13.9	△ 0.2
H30	268	1	2,690	△ 19	75,049	△ 1,471	280.0	△ 6.6	27.9	△ 0.3	5,451	△ 73	13.8	△ 0.1
国立	4	-	33	-	1,224	△ 14	306.0	△ 3.5	37.1	△ 0.4	68	3	18.0	△ 1.0
公立	236	1	2,442	△ 16	66,501	△ 1,281	281.8	△ 6.6	27.2	△ 0.3	4,859	△ 79	13.7	△ 0.0
私立	28	-	215	△ 3	7,324	△ 176	261.6	△ 6.3	34.1	△ 0.3	524	3	14.0	△ 0.4
男	38,395	△ 713	2,951	△ 78
女	36,654	△ 758	2,500	5

注)平成28年度から二部授業の「学級数」「生徒数」「担当教員数」は含まれていない。

(1) 学校数(表10)

- ア 学校数は268校で、前年度より1校増加している。
- イ 設置者別では、国立4校、公立236校、私立28校で、前年度より公立は1校増加している。

(2) 学級数(表10, 統計表5)

- ア 学級数は2,690学級で、前年度より19学級減少している。
- イ 設置者別では、国立33学級、公立2,442学級、私立215学級で、前年度より公立は16学級、私立は3学級減少している。
- ウ 学級編制方式別では、単式学級2,253学級、特別支援学級437学級で、前年度より単式学級は36学級減少し、特別支援学級は17学級増加している。

(3) 生徒数(表10, 統計表5)

- ア 生徒数は75,049人で、前年度より1,471人減少している。
- イ 設置者別では、国立1,224人、公立66,501人、私立7,324人で、前年度より国立は14人、公立は1,281人、私立は176人減少している。
- ウ 学級編制方式別では、単式学級73,537人、特別支援学級1,512人で、前年度より単式学級は1,490人減少し、特別支援学級は19人増加している。
- エ 男女別では、男子38,395人、女子36,654人で、前年度より男子は713人、女子は758人減少している。
- オ 外国人生徒数は432人で、前年度より55人増加している。
- カ 1校当たりの生徒数は280.0人で、前年度より6.6人減少している。
- キ 1学級当たりの生徒数は27.9人で、前年度より0.3人減少している。

(4) 教員数(本務者)(表10, 統計表5)

- ア 教員数(本務者)は5,451人で、前年度より73人減少している。
- イ 設置者別では、国立68人、公立4,859人、私立524人で、前年度より国立は3人増加し、公立は79人減少し、私立は3人増加している。
- ウ 男女別では、男性2,951人、女性2,500人で、前年度より男性は78人減少し、女性は5人増加している。
- エ 教員(本務者)1人当たりの生徒数は13.8人で、前年度より0.1人減少している。
- オ 教員(本務者)に占める女性の割合は45.9%で、前年度より0.7ポイント上昇している。

(5) 中学校夜間学級を設置する学校(二部授業を行う学校)

- ア 中学校夜間学級を設置する学校(二部授業を行う学校)は2校(すべて公立)で、学級数は6学級、生徒数は33人、教員数(本務者)は12人である。

5 義務教育学校

[表11]学校数・学級数・児童生徒数・教員数(本務者)の推移

年度	学校数		学級数		児童生徒数		1校当たりの児童生徒数		1学級当たりの児童生徒数		教員数(本務者)		教員1人当たりの児童生徒数	
	対前年増減数	対前年増減数	対前年増減数	対前年増減数	対前年増減数	対前年増減数	対前年増減数	対前年増減数	対前年増減数	対前年増減数	対前年増減数	対前年増減数	対前年増減数	
	校		学級		人									
H26	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
H27	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
H28	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
H29	2	2	47	47	1,211	1,211	605.5	605.5	25.8	25.8	85	85	14.2	14.2
H30	3	1	62	15	1,353	142	451.0	△154.5	21.8	△3.9	109	24	12.4	△1.8
国立	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
公立	3	1	62	15	1,353	142	451.0	△154.5	21.8	△3.9	109	24	12.4	△1.8
私立	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
男	708	76	46	13
女	645	66	63	11

(1) 学校数 (表 11)

- ア 学校数は3校で、前年度より1校増加している。
- イ 設置者はすべて公立である。

(2) 学級数 (表 11, 統計表 6)

- ア 学級数は62学級で、前年度より15学級増加している。
- イ 学級編制方式別では、単式学級46学級、特別支援学級16学級で、前年度より単式学級が9学級、特別支援学級が6学級増加している。

(3) 児童生徒数 (表 11, 統計表 6)

- ア 児童生徒数は1,353人(前期課程880人、後期課程473人)で、前年度より142人(前期課程89人、後期課程53人)増加している。
- イ 男女別では、男子708人、女子645人で、前年度より男子は76人、女子は66人増加している。
- ウ 課程別では、前期課程880人(男子463人、女子417人)、後期課程473人(男子245人、女子228人)で、前年度より前期課程は89人、後期課程は53人増加している。
- エ 外国人児童生徒数は4人で、前年度より2人増加している。
- オ 1校当たりの児童生徒数は451.0人で、前年度より154.5人減少している。
- カ 1学級当たりの児童生徒数は21.8人で、前年度より3.9人減少している。

(4) 教員数(本務者) (表 11, 統計表 6)

- ア 教員数(本務者)は109人で、前年度より24人増加している。
- イ 男女別では、男性46人、女性63人で、前年度より男性13人、女性11人増加している。
- ウ 教員(本務者)1人当たりの生徒数は12.4人で、前年度より1.8人減少している。
- エ 教員(本務者)に占める女性の割合は57.8%で、前年度より3.4ポイント低下している。

6 高等学校

〔1〕全日制・定時制・通信制

[表12]学校数・生徒数・教員数(本務者)の推移

年度	学校数	生徒数		1校当たりの生徒数		教員数(本務者)		教員1人当たりの生徒数		
		対前年増減数	対前年増減数	対前年増減数	対前年増減数	対前年増減数	対前年増減数			
	校		人							
H26	136	-	78,374	35	576.3	0.3	5,454	△ 5	14.4	0.0
H27	136	-	77,397	△ 977	569.1	△ 7.2	5,461	7	14.2	△0.2
H28	136	-	76,775	△ 622	564.5	△ 4.6	5,477	16	14.0	△0.2
H29	136	-	76,197	△ 578	560.3	△ 4.3	5,455	△ 22	14.0	△0.0
H30	137	1	75,091	△ 1,106	548.1	△ 12.2	5,404	△ 51	13.9	△0.1
国立	2	-	1,207	△ 9	603.5	△ 4.5
公立	95	1	49,397	△ 895	520.0	△ 15.1
私立	40	-	24,487	△ 202	612.2	△ 5.1
男	38,109	△ 521	3,598	△ 29
女	36,982	△ 585	1,806	△ 22

(1) 学校数 (表 12)

ア 学校数は137校で、前年度より1校増加している。

イ 設置者別では、国立2校、公立95校、私立40校で、前年度より公立は1校増加している。

(2) 生徒数 (表 12, 統計表 7, 統計表 8)

ア 生徒数は75,091人で、前年度より1,106人減少している。

イ 設置者別では、国立1,207人、公立49,397人、私立24,487人で、前年度より国立は9人、公立は895人、私立は202人減少している。

ウ 男女別では、男子38,109人、女子36,982人で、前年度より男子は521人、女子は585人減少している。

エ 学科分野別では、普通科55,400人が最も多く、次いで総合学科6,992人、工業科5,280人、商業科3,995人となっている。

オ 1校当たりの生徒数は548.1人で、前年度より12.2人減少している。

(3) 教員数(本務者) (表 12, 統計表 7, 統計表 8)

ア 教員数(本務者)は5,404人で、前年度より51人減少している。

イ 男女別では、男性3,598人、女性1,806人で、前年度より男性は29人、女性は22人減少している。

ウ 教員(本務者)1人当たりの生徒数は13.9人で、前年度より0.1人減少している。

エ 教員(本務者)に占める女性の割合は33.4%で、前年度より0.1ポイント低下している。

〔2〕全日制

[表13]学校数・生徒数・教員数(本務者)の推移

年度	学校数		生徒数		1校当たりの生徒数		教員数(本務者)		教員1人当たりの生徒数	
		対前年増減数		対前年増減数		対前年増減数		対前年増減数		対前年増減数
	校		人							
H26	126	-	72,359	138	574.3	1.1	5,078	△14	14.2	0.0
H27	126	-	71,687	△672	568.9	△5.3	5,085	7	14.1	△0.2
H28	126	-	71,417	△270	566.8	△2.1	5,102	17	14.0	△0.1
H29	126	-	71,127	△290	564.5	△2.3	5,086	△16	14.0	△0.0
H30	127	1	70,103	△1,024	552.0	△12.5	5,031	△55	13.9	△0.1
国立	2	-	1,207	△9	603.5	△4.5	77	△2	15.7	0.3
公立	89	1	45,504	△862	511.3	△15.6	3,479	△50	13.1	△0.1
私立	36	-	23,392	△153	649.8	△4.3	1,475	△3	15.9	△0.1
男	…	…	35,224	△495	…	…	3,349	△35	…	…
女	…	…	34,879	△529	…	…	1,682	△20	…	…

(1) 学校数 (表 13)

ア 学校数は 127 校で、前年度より 1 校増加している。

イ 設置者別では、国立 2 校、公立 89 校、私立 36 校で、前年度より公立は 1 校増加している。

(2) 生徒数 (表 13, 統計表 7)

ア 生徒数(専攻科含む。)は 70,103 人で、前年度より 1,024 人減少している。

イ 男女別では、男子 35,224 人、女子 34,879 人で、前年度より男子は 495 人、女子は 529 人減少している。

ウ 学科分野別では、普通科 51,313 人が最も多く、次いで総合学科 6,752 人、工業科 5,070 人、商業科 3,805 人、農業科 1,518 人となっている。

エ 1 校当たりの生徒数は 552.0 人で、前年度より 12.5 人減少している。

(3) 教員数(本務者) (表 13, 統計表 7)

ア 教員数(本務者)は 5,031 人で、前年度より 55 人減少している。

イ 男女別では、男性 3,349 人、女性 1,682 人で、前年度より男性は 35 人、女性は 20 人減少している。

ウ 教員(本務者)1 人当たりの生徒数は 13.9 人で、前年度より 0.1 人減少している。

エ 教員(本務者)に占める女性の割合は 33.4%で、前年度より 0.1 ポイント低下している。

(4) 入学状況 (表 14)

ア 入学定員は 25,318 人で、前年度より 433 人減少している。

設置者別では、国立 400 人、公立 15,922 人、私立 8,996 人で、前年度より公立は 440 人減少し、私立は 7 人増加している。

イ 入学志願者は 40,196 人で、前年度より 1,666 人減少している。

設置者別では、国立 783 人、公立 20,228 人、私立 19,185 人で、前年度より国立は 60 人増加し、公立は 1,101 人、私立は 625 人減少している。

男女別では、男子 20,507 人、女子 19,689 人で、前年度より男子は 652 人、女子は 1,014 人減少している。

ウ 競争率は 1.6 倍で、前年度とほぼ同数である。

設置者別では、国立 2.0 倍、公立 1.3 倍、私立 2.1 倍で、前年度より国立は 0.2 ポイント上昇し、公立はほぼ同数、私立は 0.1 ポイント低下している。

エ 入学者は 23,280 人で、前年度より 975 人減少している。

設置者別では、国立 404 人、公立 15,080 人、私立 7,796 人で、前年度より国立は 1 人増加し、公立は 579 人、私立は 397 人減少している。

男女別では、男子 11,743 人、女子 11,537 人で、前年度より男子は 446 人、女子は 529 人減少している。

オ 定員充足率は 92.0%で、前年度より 2.2 ポイント低下している。

設置者別では、国立 101.0%、公立 94.7%、私立 86.7%で、前年度より国立は 0.3 ポイント上昇し、公立は 1.0 ポイント、私立は 4.5 ポイント低下している。

[表14]入学定員・入学志願者・競争率・入学者・定員充足率の推移

年度	入学定員		入学志願者		競争率		入学者		定員充足率	
	人	対前年 増減数		対前年 増減数	倍	対前年 増減数	人		%	対前年 増減数
H26	26,471	△ 80	43,965	183	1.7	0.0	24,754	158	93.5	0.9
H27	25,964	△ 507	42,371	△ 1,594	1.6	△ 0.0	24,185	△ 569	93.1	△ 0.4
H28	25,819	△ 145	42,107	△ 264	1.6	△ 0.0	24,111	△ 74	93.4	0.2
H29	25,751	△ 68	41,862	△ 245	1.6	△ 0.0	24,255	144	94.2	0.8
H30	25,318	△ 433	40,196	△ 1,666	1.6	△ 0.0	23,280	△ 975	92.0	△ 2.2
国立	400	-	783	60	2.0	0.2	404	1	101.0	0.3
公立	15,922	△ 440	20,228	△ 1,101	1.3	△ 0.0	15,080	△ 579	94.7	△ 1.0
私立	8,996	7	19,185	△ 625	2.1	△ 0.1	7,796	△ 397	86.7	△ 4.5
男	20,507	△ 652	11,743	△ 446
女	19,689	△ 1,014	11,537	△ 529

[3] 定時制

[表15]学校数・生徒数・教員数(本務者)の推移

年度	学校数		生徒数		1校当たりの生徒数		教員数(本務者)		教員1人当たりの生徒数	
		対前年増減数		対前年増減数		対前年増減数		対前年増減数		対前年増減数
	校		人							
H26	22	-	2,086	△128	94.8	△5.8	282	2	7.4	△0.5
H27	22	-	1,937	△149	88.0	△6.8	281	△1	6.9	△0.5
H28	22	-	1,841	△96	83.7	△4.4	278	△3	6.6	△0.3
H29	23	1	1,787	△54	77.7	△6.0	281	3	6.4	△0.3
H30	23	-	1,845	58	80.2	2.5	281	-	6.6	0.2
国立	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
公立	22	-	1,845	58	83.9	2.7	281	-	6.6	0.2
私立	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
男	1,143	31	194	4
女	702	27	87	△4

(1) 学校数(表15)

- ア 学校数は23校(うち全日制との併置19校)で、前年度と同数である。
- イ 設置者別では、公立22校、私立1校で、前年度と同数である。

(2) 生徒数(表15, 統計表7)

- ア 生徒数は1,845人で、前年度より58人増加している。
- イ 男女別では、男子1,143人、女子702人で、前年度より男子は31人、女子は27人増加している。
- ウ 学科分野別では、普通科1,205人が最も多く、次いで総合学科240人、工業科210人、商業科190人となっている。
- エ 1校当たりの生徒数は80.2人で、前年度より2.5人増加している。

(3) 教員数(本務者)(表15, 統計表7)

- ア 教員数(本務者)は281人で、前年度と同数である。
- イ 男女別では、男性194人、女性87人で、前年度より男性は4人増加し、女性は4人減少している。
- ウ 教員(本務者)1人当たりの生徒数は6.6人で、前年度より0.2人増加している。
- エ 教員(本務者)に占める女性の割合は31.0%で、前年度より1.4ポイント低下している。

(4) 入学状況(表16)

- ア 入学定員は840人で、前年度より200人減少している。
- イ 入学志願者は854人で、前年度より138人増加している。
男女別では、男子531人、女子323人で、前年度より男子は77人、女子は61人増加している。
- ウ 入学者は571人で、前年度より47人増加している。
男女別では、男子345人、女子226人で、前年度より男子は28人、女子は19人増加している。
- エ 定員充足率は68.0%で、前年度より17.6ポイント上昇している。

[表16]入学定員・入学志願者・競争率・入学者・定員充足率の推移

年度	入学定員		入学志願者		競争率		入学者		定員充足率	
		対前年増減数		対前年増減数		対前年増減数		対前年増減数		対前年増減数
	人				倍		人		%	
H26	1,040	-	847	△30	0.8	△0.0	586	△44	56.3	△4.2
H27	1,040	-	694	△153	0.7	△0.1	522	△64	50.2	△6.2
H28	1,040	-	638	△56	0.6	△0.1	507	△15	48.8	△1.4
H29	1,040	-	716	78	0.7	0.1	524	17	50.4	1.6
H30	840	△200	854	138	1.0	0.3	571	47	68.0	17.6
国立	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
公立	840	△200	854	138	1.0	0.3	571	47	68.0	17.6
私立	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
男	531	77	345	28
女	323	61	226	19

〔4〕通信制

[表17]学校数・生徒数・入学者・教員数(本務者)の推移

年度	学校数	対前年 増減数	生徒数		1校当たりの 生徒数		入学者		教員数 (本務者)		教員1人 当たりの 生徒数	
			対前年 増減数	対前年 増減数	対前年 増減数	対前年 増減数	対前年 増減数	対前年 増減数	対前年 増減数	対前年 増減数		
	校		人									
H26	8	-	3,929	25	491.1	3.1	766	12	94	7	41.8	△3.1
H27	8	-	3,773	△156	471.6	△19.5	686	△80	95	1	39.7	△2.1
H28	8	-	3,517	△256	439.6	△32.0	640	△46	97	2	36.3	△3.5
H29	8	-	3,283	△234	410.4	△29.3	597	△43	88	△9	37.3	1.0
H30	8	-	3,143	△140	392.9	△17.5	703	106	92	4	34.2	△3.1
国立	-	-	-	-	-	-
公立	3	-	2,048	△91	682.7	△30.3
私立	5	-	1,095	△49	219.0	△9.8
男	1,742	△57	385	55	55	2
女	1,401	△83	318	51	37	2

(1) 学校数 (表 17)

- ア 学校数は8校(独立校6校, 併置校2校)で, 前年度と同数である。
- イ 設置者別では, 公立3校, 私立5校で, 前年度と同数である。

(2) 生徒数 (表 17, 統計表 8)

- ア 生徒数は3,143人で, 前年度より140人減少している。
- イ 男女別では, 男子1,742人, 女子1,401人で, 前年度より男子は57人, 女子は83人減少している。
- ウ 学科分野別は, 普通科が2,882人, その他の学科が261人である。
- エ 1校当たりの生徒数は392.9人で, 前年度より17.5人減少している。

(3) 教員数(本務者) (表 17, 統計表 8)

- ア 教員数(本務者)は92人で, 前年度より4人増加している。
- イ 男女別では, 男性55人, 女性37人で, 前年度より男性は2人, 女性は2人増加している。
- ウ 教員(本務者)1人当たりの生徒数は34.2人で, 前年度より3.1人減少している。
- エ 教員(本務者)に占める女性の割合は40.2%で, 前年度より0.4ポイント増加している。

(4) 入学状況 (表 17)

- ア 入学者は703人で, 前年度より106人増加している。
- 男女別では, 男子385人, 女子318人で, 前年度より男子は55人, 女子は51人増加している。

7 中等教育学校

[表18]学校数・学級数・生徒数・教員数(本務者)の推移

年度	学校数		学級数		生徒数		1学級当 たりの 生徒数		教員数 (本務者)		教員1人 当たりの 生徒数	
		対前年 増減数		対前年 増減数		対前年 増減数		対前年 増減数		対前年 増減数		対前年 増減数
	校		学級		人							
H26	1	1	4	4	118	118	29.5	29.5	7	7	16.9	16.9
H27	1	-	8	4	232	114	29.0	△0.5	11	4	21.1	4.2
H28	1	-	12	4	349	117	29.1	0.1	17	6	20.5	△0.6
H29	1	-	16	4	469	120	29.3	0.2	29	12	16.2	△4.4
H30	1	-	20	4	585	116	29.3	△0.1	40	11	14.6	△1.5
国立	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
公立	1	-	20	4	585	116	29.3	△0.1	40	11	14.6	△1.5
私立	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
男	270	59	27	8
女	315	57	13	3

(1) 学校数(表18)

- ア 学校数は1校で、前年度と同数である。
- イ 設置者はすべて公立である。

(2) 学級数(表18, 統計表9)

- ア 学級数は20学級で、前年度より4学級増加している。
- イ 学級編成方式は単式学級のみで、前年度より4学級増加している。
- ウ 課程別では、前期課程12学級、後期課程8学級で、前年度より後期課程は4学級増加している。

(3) 生徒数(表18, 統計表9)

- ア 生徒数は585人で、前年度より116人増加している。
- イ 男女別では、男子270人、女子315人で、前年度より男子は59人、女子は57人増加している。
- ウ 課程別では、前期課程357人(男子163人、女子194人)、後期課程228人(男子107人、女子121人)で、前年度より前期課程は4人、後期課程は112人増加している。
- エ 外国人生徒数は2人で、前年度と同数であるが、前期課程で2名減少し、後期課程で2名増加している。
- オ 1学級当たりの生徒数は29.3人で、前年度より0.1人減少している。

(4) 教員数(本務者)(表18, 統計表9)

- ア 教員数(本務者)は40人で、前年度より11人増加している。
- イ 男女別では、男性27人、女性13人で、前年度より男性は8人、女性は3人増加している。
- ウ 教員(本務者)1人当たりの生徒数は14.6人で、前年度より1.5人減少している。
- エ 教員(本務者)に占める女性の割合は32.5%で、前年度より2.0ポイント低下している。

8 特別支援学校

[表19]学校数・学級数・在学者数・教員数(本務者)の推移

年度	学校数		学級数		在学者数		1校当たりの在学者数		1学級当たりの在学者数		教員数(本務者)		教員1人当たりの在学者数	
		対前年増減数		対前年増減数		対前年増減数		対前年増減数		対前年増減数		対前年増減数		対前年増減数
	校		学級		人									
H26	18	-	604	37	2,494	154	138.6	8.6	4.1	0.0	1,412	84	1.8	0.0
H27	18	-	626	22	2,592	98	144.0	5.4	4.1	0.0	1,496	84	1.7	△0.0
H28	18	-	648	22	2,673	81	148.5	4.5	4.1	△0.0	1,537	41	1.7	0.0
H29	18	-	645	△3	2,713	40	150.7	2.2	4.2	0.1	1,555	18	1.7	0.0
H30	18	-	643	△2	2,755	42	153.1	2.3	4.3	0.1	1,550	△5	1.8	0.0
国立	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
公立	18	-	643	△2	2,755	42	153.1	2.3	4.3	0.1	1,550	△5	1.8	0.0
私立	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
男	…	…	…	…	1,805	36	…	…	…	…	582	-	…	…
女	…	…	…	…	950	6	…	…	…	…	968	△5	…	…

(1) 学校数(表19)

- ア 学校数は18校で、前年度と同数である。
- イ 設置者はすべて公立である。

(2) 学級数(表19, 統計表10)

- ア 学級数は643学級で、前年度より2学級減少している。
- イ 部別では、幼稚部8学級、小学部239学級、中学部155学級、高等部241学級で、前年度より幼稚部は1学級減少し、小学部は2学級、中学部は4学級増加し、高等部は7学級減少している。

(3) 在学者数(表19, 統計表10)

- ア 在学者数は2,755人で、前年度より42人増加している。
- イ 男女別では、男子1,805人、女子950人で、前年度より男子は36人、女子は6人増加している。
- ウ 部別では、幼稚部21人、小学部865人、中学部554人、高等部1,315人で、前年度より幼稚部は1人減少し、小学部は56人、中学部は3人増加し、高等部は16人減少している。
- エ 外国人在学者数は14人(幼稚部1人、小学部4人、中学部3人、高等部6人)で、前年度より2人増加している。
- オ 1校当たりの在学者数は153.1人で、前年度より2.3人増加した。
- カ 1学級当たりの在学者数は4.3人で、前年度より0.1人増加した。

(4) 教員数(本務者)(表19, 統計表10)

- ア 教員数(本務者)は1,550人で、前年度より5人減少している。
- イ 男女別では、男性582人、女性968人で、前年度より女性は5人減少している。
- ウ 教員(本務者)1人当たりの在学者数は1.8人で、前年度とほぼ同数である。
- エ 教員(本務者)に占める女性の割合は62.5%で、前年度より0.1ポイント低下している。

9 専修学校

[表20]学校数・学科数・生徒数・教員数(本務者)の推移

年度	学校数		学科数		生徒数		1校 当たりの 生徒数		1学科 当たりの 生徒数		教員数 (本務者)		教員1人 当たりの 生徒数	
	対前年 増減数		対前年 増減数		対前年 増減数		対前年 増減数		対前年 増減数		対前年 増減数		対前年 増減数	
	校		学科		人									
H26	80	-	209	△6	12,819	△181	160.2	△2.3	61.3	0.9	818	△23	15.7	0.2
H27	80	-	213	4	12,602	△217	157.5	△2.7	59.2	△2.2	819	1	15.4	△0.3
H28	80	-	201	△12	12,449	△153	155.6	△1.9	61.9	2.8	822	3	15.1	△0.2
H29	78	△2	230	29	12,552	103	160.9	5.3	54.6	△7.4	828	6	15.2	0.0
H30	76	△2	219	△11	12,625	73	166.1	5.2	57.6	3.1	793	△35	15.9	0.8
国立	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
公立	3	-	7	-	624	△15	208.0	△5.0	89.1	△2.1	74	-	8.4	△0.2
私立	73	△2	212	△11	12,001	88	164.4	5.6	56.6	3.2	719	△35	16.7	0.9
男	5,168	84	338	△18
女	7,457	△11	455	△17

(1) 学校数 (表 20)

- ア 学校数は76校で、前年度より2校減少している。
- イ 設置者別では、公立3校、私立73校で、前年度より私立は2校減少している。

(2) 学科数 (表 20)

- ア 学科数は219学科で、前年度より11学科減少している。
- イ 設置者別では、公立7学科、私立212学科で、前年度より私立は11学科減少している。

(3) 生徒数 (表 20, 統計表 11)

- ア 生徒数は12,625人で、前年度より73人増加している。
- イ 設置者別では、公立624人、私立12,001人で、前年度より公立は15人減少し、私立は88人増加している。
- ウ 男女別では、男子5,168人、女子7,457人で、前年度より男子は84人増加し、女子は11人減少している。
- エ 課程別では、高等課程948人、専門課程11,677人で、前年度より高等課程は65人減少し、専門課程は138人増加している。
- オ 分野別では、医療関係4,179人(男子1,141人、女子3,038人)が最も多く、次いで文化・教養関係3,221人(男子1,775人、女子1,446人)、衛生関係1,499人(男子463人、女子1,036人)、工業関係1,402人(男子1,236人、女子166人)、商業実務関係997人(男子231人、女子766人)、教育・社会福祉関係742人(男子215人、女子527人)、服飾・家政関係531人(男子60人、女子471人)、農業関係54人(男子47人、女子7人)となっている。
- カ 1校当たりの生徒数は166.1人で、前年度より5.2人増加している。
- キ 1学科当たりの生徒数は57.6人で、前年度より3.1人増加している。

(4) 教員数(本務者) (表 20)

- ア 教員数(本務者)は793人で、前年度より35人減少している。
- イ 設置者別では、公立74人、私立719人で、前年度より私立は35人減少している。
- ウ 男女別では、男性338人、女性455人で、前年度より男性は18人、女性は17人減少している。
- エ 教員(本務者)1人当たりの生徒数は15.9人で、前年度より0.8人増加している。
- オ 教員(本務者)に占める女性の割合は57.4%で、前年度より0.4ポイント上昇している。

(5) 入学状況（平成30年度春期）及び卒業状況（平成30年3月）（表21）

- ア 入学定員は9,158人で、前年度より298人増加している。
 設置者別では、公立240人、私立8,918人で、前年度より私立は298人増加している。
- イ 入学志願者は7,248人で、前年度より192人減少している。
 設置者別では、公立574人、私立6,674人で、前年度より公立は25人、私立は167人減少している。
- ウ 入学者数は5,707人で、前年度より285人減少している。
 設置者別では、公立214人、私立5,493人で、前年度より公立は5人、私立は280人減少している。
 男女別では、男子2,376人、女子3,331人で、前年度より男子は233人、女子は52人減少している。
- エ 入学率は78.7%で、前年度より1.8ポイント低下している。
 設置者別では、公立37.3%、私立82.3%で、前年度より公立は0.7ポイント上昇し、私立は2.1ポイント低下している。
- オ 定員充足率は62.3%で、前年度より5.3ポイント低下している。
 設置者別では、公立89.2%、私立61.6%で、前年度より公立は2.1ポイント、私立は5.4ポイント低下している。
- カ 卒業者数は4,909人で、前年度より450人減少している。
 設置者別では、公立218人、私立4,691人で、前年度より公立は13人、私立は437人減少している。
 男女別では、男子1,961人、女子2,948人で、前年度より男子は8人、女子は67人減少している。
- キ 卒業者のうち、関係分野に就職した者は3,555人で、前年度より75人減少している。
 男女別では、男子1,295人、女子2,260人で、前年度より男子は8人、女子は67人減少している。

[表21]入学定員・入学志願者・入学者・入学率・定員充足率・卒業者・関係分野就職者の推移

年度	入学定員		入学志願者		入学者		入学率		定員充足率		卒業者		関係分野就職者	
	対前年増減数		対前年増減数		対前年増減数		対前年増減数		対前年増減数		対前年増減数		対前年増減数	
	人						%				人			
H26	9,139	△ 61	7,519	△ 583	5,729	△ 196	76.2	3.1	62.7	△ 1.7	5,206	71	3,816	187
H27	8,979	△ 160	7,462	△ 57	5,817	88	78.0	1.8	64.8	2.1	5,244	38	3,842	26
H28	8,832	△ 147	7,133	△ 329	5,563	△ 254	78.0	0.0	63.0	△ 1.8	5,148	△ 96	3,706	△ 136
H29	8,860	28	7,440	307	5,992	429	80.5	2.5	67.6	4.6	5,359	211	3,630	△ 76
H30	9,158	298	7,248	△ 192	5,707	△ 285	78.7	△ 1.8	62.3	△ 5.3	4,909	△ 450	3,555	△ 75
国立	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
公立	240	-	574	△ 25	214	△ 5	37.3	0.7	89.2	△ 2.1	218	△ 13
私立	8,918	298	6,674	△ 167	5,493	△ 280	82.3	△ 2.1	61.6	△ 5.4	4,691	△ 437
男	2,376	△ 233	1,961	△ 225	1,295	△ 8
女	3,331	△ 52	2,948	△ 225	2,260	△ 67

注)「関係分野就職者」とは、卒業者のうち関係分野に就職した者である。

10 各種学校

[表22]学校数・課程数・生徒数・教員数(本務者)の推移

年度	学校数		課程数		生徒数		1校 当たりの 生徒数		1課程 当たりの 生徒数		教員数 (本務者)		教員1人 当たりの 生徒数	
		対前年 増減数		対前年 増減数		対前年 増減数		対前年 増減数		対前年 増減数		対前年 増減数		対前年 増減数
	校		課程		人									
H26	29	-	35	1	2,375	80	81.9	2.8	67.9	0.4	154	13	15.4	△0.9
H27	28	△1	30	△5	2,488	113	88.9	7.0	82.9	15.1	139	△15	17.9	2.5
H28	27	△1	31	1	2,609	121	96.6	7.8	84.2	1.2	149	10	17.5	△0.4
H29	26	△1	31	-	2,350	△259	90.4	△6.2	75.8	△8.4	175	26	13.4	△4.1
H30	25	△1	28	△3	2,226	△124	89.0	△1.3	79.5	3.7	165	△10	13.5	0.1
国立	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
公立	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
私立	25	△1	28	△3	2,226	△124	89.0	△1.3	79.5	3.7	165	△10	13.5	0.1
男	…	…	…	…	1,332	△72	…	…	…	…	83	△8	…	…
女	…	…	…	…	894	△52	…	…	…	…	82	△2	…	…

(1) 学校数 (表 22)

- ア 学校数は25校で、前年度より1校減少している。
- イ 設置者はすべて私立である。

(2) 課程数 (表 22)

- ア 課程数は28課程で、前年度より3課程減少している。

(3) 生徒数 (表 22, 統計表 12)

- ア 生徒数は2,226人で、前年度より124人減少している。
- イ 男女別では、男子1,332人、女子894人で、前年度より男子は72人、女子は52人減少している。
- ウ 課程別では、各種学校のみにある課程1,644人(男子1,115人、女子529人)が最も多く、次いで文化・教養関係299人(男子155人、女子144人)、医療関係277人(男子56人、女子221人)、工業関係6人(男子6人)となっている。
- エ 1校当たりの生徒数は89.0人で、前年度より1.3人減少している。
- オ 1課程当たりの生徒数は79.5人で、前年度より3.7人増加している。

(4) 教員数(本務者) (表 22, 統計表 12)

- ア 教員数(本務者)は165人で、前年度より10人減少している。
- イ 男女別では、男性83人、女性82人で、前年度より男性は8人、女性は2人減少している。
- ウ 教員(本務者)1人当たりの生徒数は13.5人で、前年度より0.1人増加している。
- エ 教員(本務者)に占める女性の割合は49.7%で、前年度より1.7ポイント上昇している。

(5) 入学状況(平成30年度春期)及び卒業状況(平成30年3月) (統計表 12)

- ア 入学者数は1,630人で、前年度より67人減少している。
男女別では、男子1,065人、女子565人で、前年度より男子は43人、女子は24人減少している。
課程別では、各種学校のみにある課程が1,365人と最も多く、次いで医療関係144人、文化・教養関係118人、工業関係3人となっている。
- イ 卒業者数は1,761人で、前年度より139人減少している。
男女別では、男子1,152人、女子609人で、前年度より男子は131人、女子は8人減少している。
課程別では、各種学校のみにある課程が1,419人と最も多く、次いで文化・教養関係187人、医療関係152人、工業関係3人となっている。

Ⅲ 卒業後の状況調査

1 中学校

[表23]状況別卒業生数・高等学校等進学率・就職率の推移

年度	A+B+C+D+E		A		B		就職者等	C							
	卒業生数	対前年増減数	高等学校等進学者	対前年増減数	専修学校等入学者	対前年増減数		対前年増減数	自営業主等	対前年増減数	常用労働者		臨時労働者	対前年増減数	
											無期雇用労働者	有期雇用労働者			
	人														
H26	27,297	93	26,827	169	151	△27	127	△1	…	…	…	…	…	…	
H27	26,710	△587	26,282	△545	127	△24	115	△12	…	…	…	…	…	…	
H28	26,566	△144	26,193	△89	122	△5	95	△20	…	…	…	…	…	…	
H29	26,747	181	26,360	167	126	4	86	△9	…	…	…	…	…	…	
H30	25,863	△884	25,511	△849	114	△12	86	-	16	…	40	8	…	22	
国立	422	20	420	24	2	△2	-	△1	-	…	-	-	…	-	
公立	22,885	△816	22,542	△787	111	△10	86	1	16	…	40	8	…	22	
私立	2,556	△88	2,549	△86	1	-	-	-	-	…	-	-	…	-	
男	13,302	△403	13,110	△382	48	△10	62	△6	14	…	32	4	…	12	
女	12,561	△481	12,401	△467	66	△2	24	6	2	…	8	4	…	10	

つづき

年度	D		E		左記A・Bのうち就職している者(再掲)		左記有期雇用労働者のうち雇用契約期間が1年以上かつフルタイム勤務相当の者(再掲)		高等学校等進学率		就職率	
	左記以外の者	対前年増減数	不詳・死亡の者	対前年増減数	対前年増減数	対前年増減数	対前年増減数	対前年増減数	対前年増減数	対前年増減数	対前年増減数	
	人											%
H26	191	△47	1	△1	2	△7	…	…	98.3	0.3	0.5	△0.0
H27	186	△5	-	△1	6	4	…	…	98.4	0.1	0.5	△0.0
H28	156	△30	-	-	4	△2	…	…	98.6	0.2	0.4	△0.1
H29	173	17	2	2	4	-	…	…	98.6	△0.0	0.3	△0.0
H30	151	△22	1	△1	4	-	5	…	98.6	0.1	0.3	△0.1
国立	-	△1	-	-	-	-	-	…	99.5	1.0	-	△0.2
公立	145	△21	1	1	4	2	5	…	98.5	0.1	0.3	△0.1
私立	6	-	-	△2	-	△2	-	…	99.7	0.1	-	△0.1
男	81	△6	1	1	3	△1	4	…	98.6	0.1	0.4	△0.1
女	70	△16	-	△2	1	1	1	…	98.7	0.1	0.1	△0.0

注1)「高等学校等進学者」とは、高等学校本科・中等教育学校後期課程・高等専門学校・特別支援学校高等部進学者のことである。

注2)「専修学校等入学者」とは、専修学校(高等課程)進学者・専修学校(一般課程)・各種学校・公共職業能力開発施設等入学者のことである。

注3)「就職者等」のうち、「自営業主等」とは、個人経営の事業を営んでいる者及び家族の営む事業に継続的に本業として従事する者をいう。「常用労働者」のうち「無期雇用労働者」とは、雇用契約期間の定めのない者として就職した者、「有期雇用労働者」とは、雇用契約期間が1か月以上で期間の定めのある者をいう。「臨時労働者」とは、雇用契約期間が1か月未満で期間の定めのある者をいう。

注4)平成29年度以前の「就職者等」は、雇用契約期間が1年未満で期間の定めのある者及び雇用契約期間の長さにかかわらず短時間勤務の者を含まない。

また、「就職率」とは、卒業生のうち「就職者等」及び「左記A、Bのうち就職している者(再掲)」が占める割合である。

注5)平成30年度の「就職率」とは、卒業生のうち「自営業主等」、「無期雇用労働者」、「左記A、Bのうち就職している者(再掲)」及び「左記有期雇用労働者」のうち雇用契約期間が1年以上かつフルタイム勤務相当の者(再掲)の占める割合である。

注6)「左記以外の者」とは、進学も就職もしていない者である(外国の高等学校等に入学した者、家事手伝いなど)。

(1) 卒業生数(表23, 統計表13)

ア 卒業生数は25,863人(男子13,302人, 女子12,561人)で、前年度より884人減少している。

イ 設置者別では、国立422人(男子213人, 女子209人)、公立22,885人(男子11,797人, 女子11,088人)、私立2,556人(男子1,292人, 女子1,264人)で、前年度より国立は20人増加、公立は816人、私立は88人減少している。

ウ 男女別では、男子13,302人, 女子12,561人で、前年度より男子は403人、女子は481人減少している。

エ 特別支援学級の卒業生数は、450人(男子312人, 女子138人)で、前年度より18人(男子11人, 女子7人)増加している。

(2) 高等学校等進学者数(表23, 統計表13, 統計表14)

ア 高等学校等進学者数は25,511人で、前年度より849人減少している。

イ 設置者別では、国立420人, 公立22,542人, 私立2,549人で、前年度より国立は24人増加、公立は787人、私立は86人減少している。

ウ 男女別では、男子13,110人, 女子12,401人で、前年度より男子は382人、女子は467人減少している。

エ 高等学校等進学者数の内訳は、高等学校の全日制課程23,618人(男子11,943人, 女子11,675人)、定時制課程505人(男子307人, 女子198人)、通信制課程804人(男子433

人，女子 371 人），高等専門学校 354 人（男子 274 人，女子 80 人），特別支援学校高等部 230 人（男子 153 人，女子 77 人）である。

オ 高等学校等進学率は 98.6% で，前年度とほぼ同数である。

男女別では，男子 98.6%，女子 98.7% で，前年度より男子は 0.1 ポイント，女子は 0.1 ポイント上昇している。

カ 特別支援学級からの高等学校等進学者は，392 人（男子 270 人，女子 122 人）である。

(3) 専修学校等進学・入学者数（表 23，統計表 13）

ア 専修学校等進学・入学者数は 114 人で，前年度より 12 人減少している。

イ 設置者別では，国立 2 人，公立 111 人，私立 1 人で，前年度より国立は 2 人，公立は 10 人減少している。

ウ 男女別では，男子 48 人，女子 66 人で，前年度より男子は 10 人，女子は 2 人減少している。

エ 専修学校等進学・入学者数の内訳は，専修学校（高等課程）進学者 79 人，専修学校（一般課程）入学者 13 人，各種学校入学者 14 人，公共職業能力開発施設等入学者 8 人である。

オ 特別支援学級からの専修学校等進学・入学者数は 22 人である。

(4) 就職状況（表 23，統計表 13，統計表 15）

ア 就職者総数（卒業者のうち自営業主等，無期雇用労働者，A，Bのうち就職している者及び有期雇用労働者のうち雇用契約期間が 1 年以上かつフルタイム勤務相当の者のこと。以下同じ）は 65 人（男子 53 人，女子 12 人）である。

イ 就職者総数の内訳は，自営業主等 16 人（男子 14 人，女子 2 人），無期雇用労働者 40 人（男子 32 人，女子 8 人），A，Bのうち就職している者 4 人（男子 3 人，女子 1 人），有期雇用労働者のうち雇用契約期間が 1 年以上かつフルタイム勤務相当の者 5 人（男子 4 人，女子 1 人）である。

ウ 就職率（卒業者のうち就職者総数の占める割合。以下同じ。）は 0.3% である。男女別では，男子 0.4%，女子 0.1% である。

エ 就職者総数を産業別にみると，最も多いのが第 2 次産業の 35 人で，次いで第 3 次産業の 24 人となっており，第 1 次産業は 1 人，左記以外・不詳は 5 人である。

オ 就職者総数のうち，広島県内への就職者数は 59 人で，広島県外への就職者数は 6 人である。

(5) 左記以外，不詳・死亡の者の数（表 23）

ア 左記以外，不詳・死亡の者の数は 152 人で，前年度より 23 人減少している。

イ 設置者別では，公立 146 人，私立 6 人で，前年度より国立は 1 人，公立は 20 人，私立は 2 人減少している。

ウ 男女別では，男子 82 人，女子 70 人で，前年度より男子は 5 人，女子は 18 人減少している。

エ 左記以外，不詳・死亡の者の数の内訳は，左記以外の者 151 人（男子 81 人，女子 70 人），不詳・死亡の者 1 人（男子 1 人）である。

2 義務教育学校

[表24]状況別卒業生数・高等学校等進学率・就職率の推移

年度	卒業生数		高等学校等進学者		専修学校等入学者		就職者		左記以外、不詳・死亡の者		高等学校等進学率		就職率	
	対前年増減数	対前年増減数	対前年増減数	対前年増減数	対前年増減数	対前年増減数	対前年増減数	対前年増減数	対前年増減数	対前年増減数	対前年増減数	対前年増減数	対前年増減数	対前年増減数
	人											%		
H26	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
H27	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
H28	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
H29	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
H30	129	129	129	129	-	-	-	-	-	-	100.0	100.0	-	-
国立	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
公立	129	129	129	129	-	-	-	-	-	-	100.0	100.0	-	-
私立	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
男	65	65	65	65	-	-	-	-	-	-	100.0	100.0	-	-
女	64	64	64	64	-	-	-	-	-	-	100.0	100.0	-	-

注1)「高等学校等進学者」とは、高等学校・中等教育学校後期課程・高等専門学校・特別支援学校高等部に進学した者のことである。

注2)「専修学校等入学者」とは、専修学校(高等課程)進学者・専修学校(一般課程)・各種学校・公共職業能力開発施設等入学者のことである。

注3)「就職者」には、就職しながら進学及び入学した者を含む。

注4)「左記以外の者」とは、進学も就職もしていない者である(外国の高等学校等に入学した者、家事手伝いなど)。

(1) 卒業生数(表24)

ア 卒業生数は129人である。

イ 男女別では、男子65人、女64人である。

(2) 高等学校等進学者数(表24, 表25, 統計表13, 統計表14)

ア 高等学校等進学者数は129人である。

イ 男女別では、男子65人、女64人である。

ウ 高等学校等進学者数の内訳は、高等学校の全日制課程122人(男子61人、女子61人)、定時制課程2人(女子2人)、通信制課程4人(男子3人、女子1人)、高等専門学校1人(男子1人)である。

エ 高等学校等進学率は100.0%である。

[表25]高等学校等進学者の内訳の推移

年度	高等学校等進学者数		高等学校						中等教育学校後期課程		高等専門学校		特別支援学校	
	総数	対前年増減数	全日制	対前年増減数	定時制	対前年増減数	通信制	対前年増減数	全日制	対前年増減数	総数	対前年増減数	高等部	対前年増減数
	人													
H26	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
H27	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
H28	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
H29	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
H30	129	129	122	122	2	2	4	4	-	-	1	1	-	-
国立	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
公立	129	129	122	122	2	2	4	4	-	-	1	1	-	-
私立	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
男	65	65	61	61	-	-	3	3	-	-	1	1	-	-
女	64	64	61	61	2	2	1	1	-	-	-	-	-	-

3 高等学校

[表26] 状況別卒業生数・大学等進学率・就職率の推移

年度	A+B+C+D+E		A		B		C		D		E		左記A・Bのうち就職している者(再掲)		大学等進学率		就職率	
	卒業生数	対前年増減数	大学等進学者	対前年増減数	専修学校等入学者	対前年増減数	就職者	対前年増減数	一時的な仕事に就いた者	対前年増減数	左記以外、不詳・死亡の者	対前年増減数	対前年増減数	対前年増減数	対前年増減数	対前年増減数	対前年増減数	
	人																	
H26	24,289	△616	14,157	△513	5,570	△133	3,406	35	207	△30	949	25	65	2	58.3	△0.6	14.3	0.5
H27	24,598	309	14,428	271	5,604	34	3,603	197	192	△15	771	△178	41	△24	58.7	0.4	14.8	0.5
H28	24,260	△338	14,201	△227	5,380	△224	3,687	84	192	-	800	29	51	10	58.5	△0.1	15.4	0.6
H29	24,510	250	14,567	366	5,315	△65	3,602	△85	144	△48	882	82	27	△24	59.4	0.9	14.8	△0.6
H30	23,896	△614	14,207	△360	5,051	△264	3,670	68	110	△34	858	△24	24	△3	59.5	0.0	15.5	0.7
	%																	
国立	406	△1	276	12	3	2	-	-	1	1	-	-	68.0	3.1	0.7	0.5
公立	15,668	△372	8,935	△301	2,970	142	95	△29	380	△60	20	-	57.0	△0.6	19.1	1.3
私立	7,822	△241	4,996	△71	697	△76	15	△5	477	35	4	△3	63.9	1.0	9.0	△0.7
全日	22,917	△516	14,056	△361	4,817	△268	3,402	75	79	△26	563	64	24	△1	61.3	△0.2	14.9	0.6
定時	308	△39	29	4	60	△3	154	△19	31	△8	34	△13	-	△2	9.4	2.2	50.0	△0.4
通信	671	△59	122	△3	174	7	114	12	261	△75	-	-	18.2	1.1	17.0	3.0
男	12,061	△297	6,822	△216	2,375	△145	2,351	34	51	8	462	22	6	3	56.6	△0.4	19.5	0.8
女	11,835	△317	7,385	△144	2,676	△119	1,319	34	59	△42	396	△46	18	△6	62.4	0.4	11.3	0.5

注1)「大学等進学者」とは、大学(学部)・短期大学(本科)・大学・短期大学の通信教育部・大学・短期大学(別科)・高等学校(専攻科)特別支援学校高等部(専攻科)に進学した者のことである。

注2)「大学等進学率」とは、卒業者に占める「大学等進学者」の割合のことである。

注3)「専修学校等入学者」とは、専修学校(専門課程)・専修学校(一般課程)・各種学校・公共職業能力開発施設等入学者のことである。

注4)「就職率」とは、卒業者のうち「就職者」と「左記A、Bのうち就職している者(再掲)」の占める割合のことである。

注5)「就職者」には、就職しながら進学及び入学をした者を含む。

注6)通信制では、就業別及び一時的な仕事に就いた者を調査していない。

注7)「左記以外の者」とは、進学も就職もしていない者である(外国の大学等に入学した者、家事手伝いなど)。

(1) 卒業生数(表26, 統計表16)

ア 卒業生数は23,896人(男子12,061人, 女子11,835人)で, 前年度より614人減少している。

イ 設置者別では, 国立406人(男子220人, 女子186人), 公立15,668人(男子7,568人, 女子8,100人), 私立7,822人(男子4,273人, 女子3,549人)で, 前年度より国立は1人, 公立372人, 私立は241人減少している。

ウ 課程別では, 全日課程22,917人(男子11,502人, 女子11,415人), 定時課程308人(男子195人, 女子113人), 通信課程671人(男子364人, 女子307人)である。

エ 男女別では, 男子12,061人, 女子11,835人で, 前年度より男子は297人, 女子は317人減少している。

(2) 大学等進学者数(表26, 統計表16, 統計表17)

ア 大学等進学者数は14,207人(男子6,822人, 女子7,385人)で, 前年度より360人減少している。

イ 設置者別では, 国立276人(男子140人, 女子136人), 公立8,935人(男子4,108人, 女子4,827人), 私立4,996人(男子2,574人, 女子2,422人)で, 前年度より国立は12人増加し, 公立は301人, 私立は71人減少している。

ウ 男女別では, 男子6,822人, 女子7,385人で, 前年度より男子は216人, 女子は144人減少している。

エ 大学等進学者数の内訳は, 大学(学部)13,301人(男子6,753人, 女子6,548人), 短期大学(本科)854人(男子68人, 女子786人), 大学・短期大学の通信教育部3人(女子3人), 大学・短期大学の別科10人(男子1人, 女子9人), 高等学校専攻科39人(女子39人)である。

オ 大学等進学率は59.5%で, 前年度とほぼ同数である。

男女別では, 男子56.6%, 女子62.4%で, 前年度より男子は0.4ポイント低下し, 女子は0.4ポイント上昇している。

カ 大学(学部)・短期大学(本科)へ入学を志願した者は15,804人で, 前年度より299人減少し, 本年3月卒業者に占める割合は66.1%である。

男女別では, 男子7,918人, 女子7,886人で, 本年3月卒業者のうち男子の65.6%, 女子の66.6%が入学志願している。

(3) 専修学校等進学・入学者数(表26, 統計表16)

ア 専修学校等進学・入学者数は5,051人で, 前年度より264人減少している。

イ 男女別では, 男子2,375人, 女子2,676人で, 前年度より男子は145人, 女子は119人減少している。

ウ 専修学校等進学・入学者数の内訳は、専修学校（専門課程）進学者 2,697 人、専修学校（一般課程）入学者 965 人、各種学校入学者 1,204 人、公共職業能力開発施設等入学者 185 人である。

(4) 就職者数（表 26, 統計表 16, 統計表 18, 統計表 19, 統計表 20）

ア 就職者数（就職者と A・B のうち就職している者を加えた全就職者数。以下同じ）は 3,694 人で、前年度より 65 人増加している。

就職者数の内訳は、就職者 3,670 人（男子 2,351 人、女子 1,319 人）、進学又は入学した者のうち就職している者 24 人（男子 6 人、女子 18 人）である。

イ 設置者別では、国立 3 人（男子 2 人、女子 1 人）、公立 2,990 人（男子 1,876 人、女子 1,114 人）、私立 701 人（男子 479 人、女子 222 人）で、前年度より国立は 2 人、公立は 142 人増加し、私立は 79 人減少している。

ウ 男女別では、男子 2,357 人、女子 1,337 人で、前年度より男子は 37 人、女子は 28 人増加している。

エ 産業別内訳では、第 1 次産業は 34 人（男子 25 人、女子 9 人）、第 2 次産業は 1,811 人（男子 1,424 人、女子 387 人）、第 3 次産業は 1,842 人（男子 903 人、女子 939 人）、左記以外の者は 7 人（男子 5 人、女子 2 人）である。

オ 産業分類別では、「製造業」1,520 人、「卸売業、小売業」441 人、「建設業」288 人の順に多い。

また、男子及び女子ともに「製造業」が最も多く、男子就職者総数の 49.0%、女子就職者総数の 27.3% を占めている。

カ 職業分類別では、「生産工程従事者」1,468 人、「サービス職業従事者」437 人、「事務従事者」416 人の順に多い。

また、男子では、「生産工程従事者」が 1,200 人と最も多く、男子就職者総数の 50.9% を占めており、女子では、「サービス職業従事者」が 303 人と最も多く、女子就職者総数の 22.7% を占めている。

キ 卒業者に占める就職者の割合は 15.5% で、前年度より 0.7 ポイント上昇している。

男女別では、男子 19.5%、女子 11.3% で、前年度より男子は 0.8 ポイント、女子は 0.5 ポイント上昇している。

広島県外への就職者数は 397 人（男子 274 人、女子 123 人）で、就職者数の 11.1% を占めている。（通信制を含まない。）

内訳は、関東地方 126 人（男子 77 人、女子 49 人）、近畿地方 114 人（男子 81 人、女子 33 人）、中国・四国地方 90 人（男子 64 人、女子 26 人）、中部地方 43 人（男子 35 人、女子 8 人）、九州地方 14 人（男子 11 人、女子 3 人）、北海道・東北地方 3 人（男子 2 人、女子 1 人）、その他 7 人（男子 4 人、女子 3 人）である。

(5) 左記以外、不詳・死亡の者の数（表 26, 統計表 16）

ア 左記以外、不詳・死亡の者の数は 858 人で、前年度より 24 人減少している。

イ 男女別では、男子 462 人、女子 396 人で、前年度より男子は 22 人増加し、女子は 46 人減少している。

ウ 左記以外、不詳・死亡の者の数の内訳は、左記以外の者 857 人、不詳・死亡の者 1 人である。

4 中等教育学校（前期課程）

[表27]状況別修了者数・高等学校等進学率・就職率の推移〔前期課程〕

年度	修了者数		高等学校等進学者		専修学校等入学者		就職者	対前年増減数	左記以外、不詳・死亡の者	対前年増減数	高等学校等進学率		就職率	対前年増減数
	対前年増減数		対前年増減数		対前年増減数						%			
	人													
H26	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
H27	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
H28	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
H29	118	118	118	118	-	-	-	-	-	-	100.0	100.0	-	-
H30	116	△2	116	△2	-	-	-	-	-	-	100.0	-	-	-
国立	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
公立	116	△2	116	△2	-	-	-	-	-	-	100.0	-	-	-
私立	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
男	41	△25	41	△25	-	-	-	-	-	-	100.0	-	-	-
女	75	23	75	23	-	-	-	-	-	-	100.0	-	-	-

注1「高等学校等進学者」とは、高等学校・中等教育学校後期課程・高等専門学校・特別支援学校高等部に進学した者のことである。

注2「専修学校等入学者」とは、専修学校（高等課程）進学者・専修学校（一般課程）・各種学校・公共職業能力開発施設等入学者のことである。

注3「就職者」には、就職しながら進学及び入学した者を含む。

注4「左記以外の者」とは、進学も就職もしていない者である（外国の高等学校等に入学した者、家事手伝いなど）。

（1）前期課程修了者数（表 27）

ア 前期課程修了者数は116人で、前年度より2人減少している。

イ 男女別では、男子41人、女75人で、前年度より男子は25人減少し、女子は23人増加している。

（2）高等学校等進学者数（表 27，表 28，統計表 13，統計表 14）

ア 高等学校等進学者数は116人で、前年度より2人減少している。

イ 男女別では、男子41人、女75人で、前年度より男子は25人減少し、女子は23人増加している。

ウ 高等学校等進学者数の内訳は、高等学校の全日制課程1人（女子1人）、定時制課程1人（女子1人）、中等教育学校後期課程114人（男子41人、女子73人）である。

エ 高等学校等進学率は100.0%である。

[表28]高等学校等進学者の内訳の推移〔前期課程〕

年度	高等学校等進学者数		高等学校						中等教育学校後期課程		高等専門学校		特別支援学校	
	総数	対前年増減数	全日制	対前年増減数	定時制	対前年増減数	通信制	対前年増減数	全日制	対前年増減数	総数	対前年増減数	高等部	対前年増減数
	人													
H26	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
H27	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
H28	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
H29	118	118	2	2	-	-	1	1	115	115	-	-	-	-
H30	116	△2	1	△1	1	1	-	△1	114	△1	-	-	-	-
国立	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
公立	116	△2	1	△1	1	1	-	△1	114	△1	-	-	-	-
私立	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
男	41	△25	-	△1	-	-	-	-	41	△24	-	-	-	-
女	75	23	1	-	1	1	-	△1	73	23	-	-	-	-

5 特別支援学校

〔1〕 中学部

[表29]状況別卒業生数・高等学校等進学率・就職率の推移〔中学部〕

年度	卒業生数		高等学校等進学者		専修学校等入学者		就職者		左記以外、不詳・死亡の者		高等学校等進学率		就職率	
	人	対前年増減数	人	対前年増減数	人	対前年増減数	人	対前年増減数	人	対前年増減数	%	対前年増減数	%	対前年増減数
H26	156	△12	156	△10	-	-	-	-	-	-	100.0	1.2	-	-
H27	188	32	186	30	-	-	-	-	2	2	98.9	△1.1	-	-
H28	156	△32	154	△32	-	-	-	-	2	-	98.7	△0.2	-	-
H29	208	52	206	52	-	-	-	-	2	-	99.0	0.3	-	-
H30	186	△22	184	△22	-	-	-	-	2	-	98.9	△0.1	-	-
国立	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
公立	186	△22	184	△22	-	-	-	-	2	-	98.9	△0.1	-	-
私立	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
男	112	△17	110	△17	-	-	-	-	2	-	98.2	△0.2	-	-
女	74	△5	74	△5	-	-	-	-	-	-	100.0	-	-	-

注1)「高等学校等進学者」とは、高等学校・中等教育学校後期課程・高等専門学校・特別支援学校高等部に進学した者のことである。

注2)「専修学校等入学者」とは、専修学校(高等課程)進学者・専修学校(一般課程)・各種学校・公共職業能力開発施設等入学者のことである。

注3)「就職者」には、就職しながら進学及び入学した者を含む。

注4)「左記以外の者」とは、進学も就職もしていない者である(外国の高等学校等に入学した者、家事手伝いなど)。

(1) 卒業生数(表29)

ア 卒業生数は186人で、前年度より22人減少している。

イ 男女別では、男子112人、女子74人で、前年度より男子は17人、女子は5人減少している。

(2) 高等学校等進学者数(表29, 表30, 統計表13, 統計表14)

ア 高等学校等進学者数は184人で、前年度より22人減少している。

イ 男女別では、男子110人、女子74人で、前年度より男子は17人、女子は5人減少している。

ウ 高等学校等進学者数の内訳は、高等学校の全日制課程1人(男子1人)、特別支援学校高等部183人(男子109人、女子74人)である。

エ 高等学校等進学率は98.9%で、前年度より0.1ポイント低下している。

男女別では、男子98.2%、女子100.0%で、前年度より男子は0.2ポイント低下し、女子は同数である。

(3) 左記以外、不詳・死亡の者の数(表29)

ア 左記以外、不詳・死亡の者の数は2人で、前年度と同数である。

イ 左記以外、不詳・死亡の者の数の内訳は、左記以外の者2人(男子2人)である。

[表30]高等学校等進学者の内訳の推移〔中学部〕

年度	高等学校等進学者数		高等学校				中等教育学校		高等専門学校		特別支援学校高等部			
	総数	対前年増減数	全日制	対前年増減数	定時制	対前年増減数	通信制	対前年増減数	全日制	対前年増減数	総数	対前年増減数	高等部	対前年増減数
	人													
H26	156	△10	-	-	-	-	2	1	-	-	-	-	154	△11
H27	186	30	1	1	-	-	1	△1	-	-	-	-	184	30
H28	154	△32	-	△1	-	-	-	△1	-	-	-	-	154	△30
H29	206	52	-	-	1	1	1	1	-	-	-	-	204	50
H30	184	△22	1	1	-	△1	-	△1	-	-	-	-	183	△21
国立	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
公立	184	△22	1	1	-	△1	-	△1	-	-	-	-	183	△21
私立	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
男	110	△17	1	1	-	△1	-	-	-	-	-	-	109	△17
女	74	△5	-	-	-	-	-	△1	-	-	-	-	74	△4

〔2〕 高等部

[表31]状況別卒業生数・大学等進学率・就職率の推移〔高等部〕

年度	卒業生数		大学等進学者		専修学校等入学者		就職者		左記以外、不詳・死亡の者		大学等進学率		就職率	
	人	対前年増減数	人	対前年増減数	人	対前年増減数	人	対前年増減数	人	対前年増減数	%	%	%	対前年増減数
H26	327	△61	8	3	7	△1	108	7	204	△70	2.4	1.2	33.0	7.0
H27	399	72	3	△5	3	△4	112	4	281	77	0.8	△1.7	28.1	△5.0
H28	429	30	5	2	5	2	134	22	285	4	1.2	0.4	31.2	3.2
H29	398	△31	3	△2	3	△2	115	△19	277	△8	0.8	△0.4	28.9	△2.3
H30	428	30	6	3	1	△2	150	35	271	△6	1.4	0.6	35.0	6.2
国立	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
公立	428	30	6	3	1	△2	150	35	271	△6	1.4	0.6	35.0	6.2
私立	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
男	281	21	6	5	-	△2	104	21	171	△3	2.1	1.8	37.0	5.1
女	147	9	-	△2	1	-	46	14	100	△3	-	△1.4	31.3	8.1

注1)「大学等進学者」とは、大学(学部)、短期大学(本科)、大学・短期大学通信教育部、大学・短期大学の別科、高等学校の専攻科及び特別支援学校高等部専攻科へ進学した者のことである。

注2)「専修学校等入学者」とは、専修学校(高等課程)進学者・専修学校(一般課程)・各種学校・公共職業能力開発施設等入学者のことである。

注3)「就職者」には、就職しながら進学及び入学した者を含む。

注4)「左記以外の者」とは、進学も就職もしていない者である(外国の大学等に入学した者、家事手伝いなど)。

(1) 卒業生数 (表 31)

ア 卒業生数は 428 人で、前年度より 30 人増加している。

イ 男女別では、男子 281 人、女子 147 人で、前年度より男子は 21 人、女子は 9 人増加している。

(2) 大学等進学者数 (表 32, 統計表 16, 統計表 17)

ア 大学等進学者数は 6 人で、前年度より 3 人増加している。

イ 男女別では、男子 6 人、女子 0 人で、前年度より男子は 5 人増加し、女子は 2 人減少している。

ウ 大学等進学者数の内訳は、大学(学部) 5 人(男子 5 人)、特別支援学校高等部専攻科 1 人(男子 1 人)である。

エ 大学等進学率は 1.4%で、前年度より 0.6 ポイント上昇している。

男女別では、男子 2.1%、女子 0.0%で、前年度より男子は 1.8 ポイント上昇し、女子は 1.4 ポイント低下している。

[表32]大学等進学者の内訳の推移〔高等部〕

年度	大学等進学者数		大学		短期大学		大学・短期大学			高等学校		特別支援学校		
	総数	対前年増減数	学部	対前年増減数	本科	対前年増減数	通信教育部	対前年増減数	別科	対前年増減数	専攻科	対前年増減数	高等部専攻科	対前年増減数
	人													
H26	8	3	7	2	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-
H27	3	△5	1	△6	1	-	-	-	-	-	1	1	-	-
H28	5	2	3	2	-	△1	-	-	-	-	-	△1	2	2
H29	3	△2	2	△1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	△1
H30	6	3	5	3	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-
国立	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
公立	6	3	5	3	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-
私立	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
男	6	5	5	4	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1
女	-	△2	-	△1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	△1

(3) 専修学校等進学・入学者数 (表 31, 統計表 16)

ア 専修学校等進学・入学者数は 1 人で、前年度より 2 人減少している。

イ 男女別では、男子 0 人、女子 1 人で、前年度より男子は 2 人減少し、女子は同数である。

ウ 専修学校等進学・入学者数の内訳は、公共職業能力開発施設等入学者 1 人(女子 1 人)である。

(4) 就職者数 (表 31, 統計表 16, 統計表 18, 統計表 19)

ア 就職者数は 150 人で、前年度より 35 人増加している。

イ 男女別では、男子 104 人、女子 46 人で、前年度より男子は 21 人、女子は 14 人増加している。

- ウ 産業別内訳では、第1次産業5人（男子2人、女子3人）、第2次産業63人（男子51人、女子12人）、第3次産業82人（男子51人、女子31人）である。
- エ 産業分類別では、「製造業」63人（男子51人、女子12人）、「卸売業、小売業」32人（男子18人、女子14人）、「医療、福祉」13人（男子9人、女子4人）の順に多い。
また、男女ともに「製造業」が最も多く、男子では、就職者総数の49.0%を占めており、女子では、就職者総数の26.1%を占めている。
- オ 職業分類別では、「運搬・清掃等従事者」57人（男子42人、女子15人）、「生産工程従事者」36人（男子31人、女子5人）、「サービス職業従事者」18人（男子8人、女子10人）の順に多い。
また、男子では、「運搬・清掃等従事者」が42人と最も多く、男子就職者総数の40.4%を占めており、女子では、「運搬・清掃等従事者」が15人と最も多く、女子就職者総数の32.6%を占めている。
- カ 卒業者に占める就職者の割合は35.0%で、前年度より6.2ポイント増加している。
男女別では、男子37.0%、女子31.3%で、前年度より男子は5.1ポイント上昇し、女子は8.1ポイント上昇している。

(5) 左記以外、不詳・死亡の者の数（表31）

- ア 左記以外、不詳・死亡の者の数は271人（すべて左記以外の者）で、前年度より6人減少している。
- イ 男女別では、男子171人、女子100人で、前年度より男子は3人、女子は3人減少している。
- ウ 左記以外、不詳・死亡の者の内訳は、児童福祉施設10人（男子8人、女子2人）、障害者支援施設等246人（男子157人、女子89人）、医療機関3人（男子2人、女子1人）などである。また、障害者支援施設等のうち就労系支援事業利用者は127人（男子80人、女子47人）である。

IV 不就学学齡児童生徒調査

1 不就学学齡児童生徒数

[表33]就学免除・猶予者数・1年以上居所不明者数・学齡児童生徒死亡者数(前年度間)の推移

年度	計	就学免除者		就学猶予者		1年以上居所不明者		学齡児童生徒死亡者数		
		対前年 増減数	総数	対前年 増減数	総数	対前年 増減数	総数	対前年 増減数	総数 (前年度間)	対前年 増減数
	人									
H26	24	△3	23	△2	1	△1	7	-	7	△10
H27	19	△5	19	△4	-	△1	-	△7	13	6
H28	15	△4	15	△4	-	-	-	-	9	△4
H29	13	△2	13	△2	-	-	1	1	10	1
H30	15	2	15	2	-	-	-	△1	11	1
6～11歳	6	2	6	2	-	-	-	-	6	△2
12～14歳	9	-	9	-	-	-	-	△1	5	3
男	9	2	9	2	-	-	-	△1	6	△2
女	6	-	6	-	-	-	-	-	5	3

(1) 就学免除者数(表 33)

ア 就学免除者数は15人で、前年度より2人増加している。

イ 年齢別では、学齡児童が6人、学齡生徒が9人で、前年度より学齡児童は2人増加し、学齡生徒は同数である。

ウ 男女別では、男子9人、女子6人で、前年度より男子は2人増加し、女子は同数である。

(2) 就学猶予者数(表 33)

ア 就学猶予者数は0人で、前年度と同数である。

(3) 1年以上居所不明者数(表 33)

ア 1年以上居所不明者数は0人で、前年度より1人減少している。

(4) 学齡児童生徒死亡者数(前年度間)(表 33)

ア 学齡児童生徒死亡者数は11人で、前年度より1人増加している。

イ 年齢別では、学齡児童6人、学齡生徒5人で、前年度より学齡児童は2人減少し、学齡生徒は3人増加している。

ウ 男女別では、男子6人、女子5人で、前年度より男子は2人減少し、女子は3人増加している。

〔参考〕（文部科学省「学校基本調査報告書」より）

1 広島県の大学、短期大学、高等専門学校 の状況

[表34]広島県内所在の大学、短期大学、高等専門学校の学校数・学生数・教員数

年度	大学				短期大学				高等専門学校			
	国立	公立	私立		国立	公立	私立		国立	公立	私立	
学校数(校)	20	1	4	15	5	-	-	5	2	2	-	-
学生数(人)	61,841	15,888	7,326	38,627	1,712	-	-	1,712	1,627	1,627	-	-
男	33,636	9,960	3,159	20,517	170	-	-	170	1,308	1,308	-	-
女	28,205	5,928	4,167	18,110	1,542	-	-	1,542	319	319	-	-
教員数(人)	4,037	1,686	554	1,797	100	-	-	100	119	119	-	-
男	2,977	1,404	405	1,168	53	-	-	53	108	108	-	-
女	1,060	282	149	629	47	-	-	47	11	11	-	-

注)「学生数」には、大学については学部学生のほか大学院学生、専攻科・別科の学生及び聴講生・研究生等を含め、短期大学については本科学生のほか専攻科・別科の学生及び聴講生等を含んでいる。

(1) 大学 (表 34, 付表 3)

- ア 学校数は 20 校である。
設置者別では、国立 1 校、公立 4 校、私立 15 校である。
- イ 学生数は 61,841 人である。
男女別では、男子 33,636 人、女子 28,205 人で、女子が全体の 45.6% (全国 44.0%) を占めている。
- ウ 広島県内の高等学校等からの進学者は 7,790 人で、県内大学選択率は 52.9% である。
男女別では、男子 3,700 人、女子 4,090 人で、県内大学選択率は男子 47.5%、女子 58.8% である。
- エ 教員数 (本務者) は 4,037 人である。
男女別では、男性 2,977 人、女性 1,060 人で、教員 (本務者) に占める女性の割合は 26.3% (全国 24.8%) である。

(2) 短期大学 (表 34, 付表 3)

- ア 学校数は 5 校で、すべて私立である。
- イ 学生数は 1,712 人である。
男女別では、男子 170 人、女子 1,542 人で、女子が全体の 90.1% (全国 88.7%) を占めている。
- ウ 広島県内の高等学校等からの進学者は 567 人で、県内短期大学選択率は 62.8% である。
男女別では、男子 43 人、女子 524 人で、県内短期大学選択率は男子 59.7%、女子 63.1% である。
- エ 教員数 (本務者) は 100 人である。
男女別では、男性 53 人、女性 47 人で、教員 (本務者) に占める女性の割合は 47.0% (全国 52.3%) である。

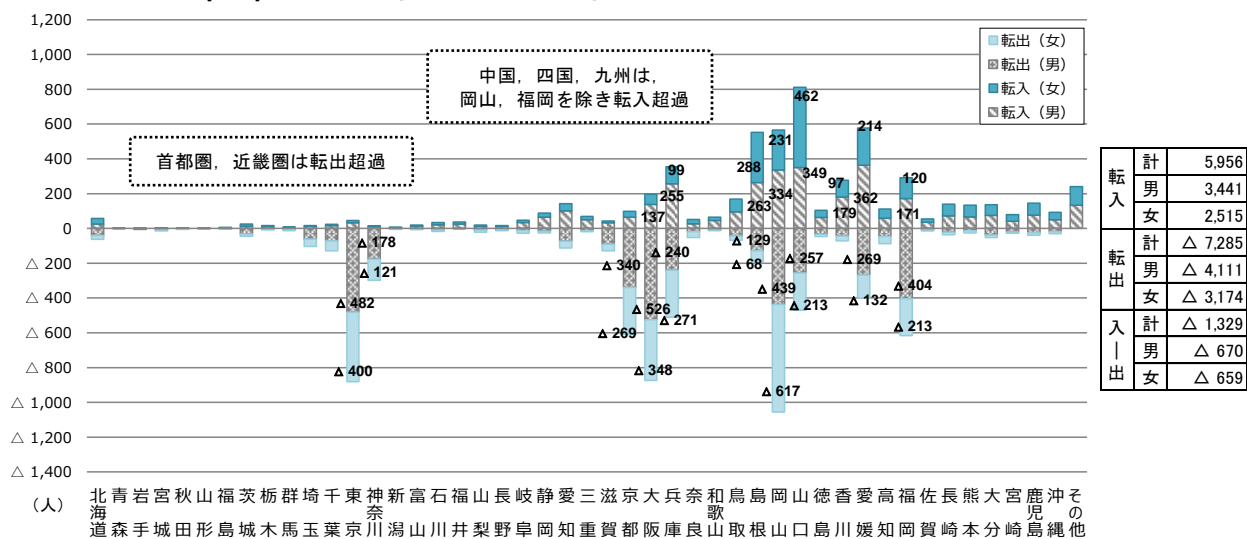
(3) 高等専門学校 (表 34)

- ア 学校数は 2 校で、すべて国立である。
- イ 学生数は 1,627 人である。
男女別では、男子 1,308 人、女子 319 人で、女子が全体の 19.6% (全国 19.0%) を占めている。
- ウ 教員数 (本務者) は 119 人である。
男女別では、男性 108 人、女性 11 人で、教員 (本務者) に占める女性の割合は 9.2% (全国 10.7%) である。

2 大学，短期大学の転出入状況

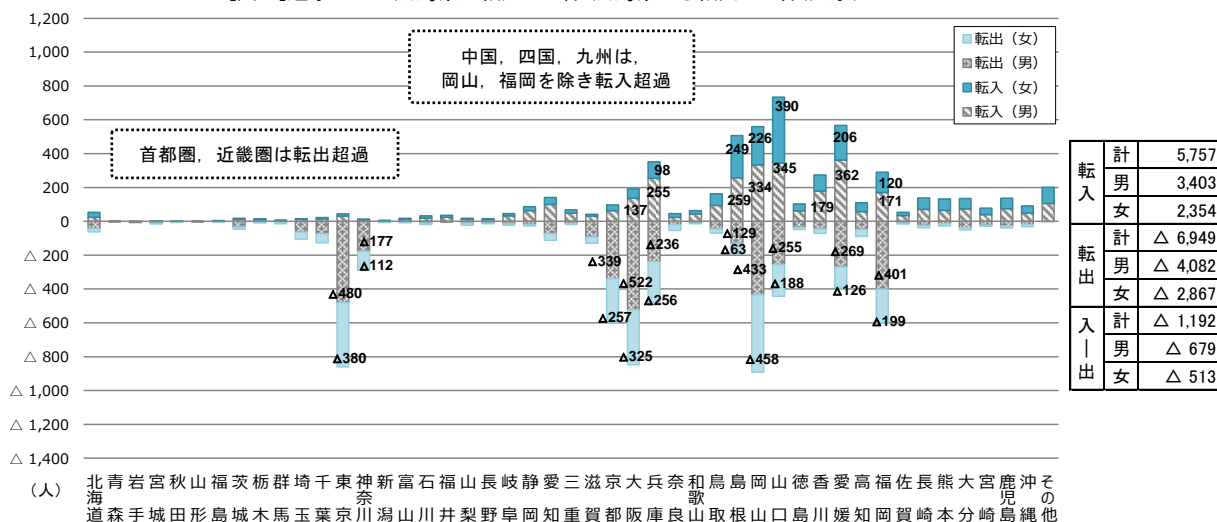
(1) 大学+短期大学

[図43]進学のため広島県に転入した者・広島県から転出した者(大学+短期大学)



(2) 大学

[図44]進学のため広島県に転入した者・広島県から転出した者(大学)



(3) 短期大学

[図45]進学のために広島県に転入した者・広島県から転出した者(短期大学)

